

認メタル片ハ(又許可ヲ受ケタル後)現在ノ收入ニ應シテ税額ヲ減シ又ハ分等税ノ納税者ニ算入セシムヘシ然ラサレハ其願ヲ却下スヘシ

失ヒタル收入ヲ知ルニ付キ止タ計算ヲ以テ之ヲ確定シ能ハス更ニ評定ヲ爲スヘキ片ハ先ツ評定委員又ハ其一名ニ收入ノ減額四分ノ一ヲ越ユルヤ否及ヒ如何ナル情況アリテ其收入ヲ減シ因テ其税額ヲ減スヘキヤ否ノ意見ヲ聞クモ縣廳ノ勝手タルヘシ縣廳ノ裁定ニ對シテハ納税者ヨリ大藏卿ニ故障ヲ申立ルコヲ得大藏卿(或ハ縣内委員又ハ其一名ノ意見ヲ聞キタル後)ハ之ヲ裁定スヘシ

第二十四條 評定終リタル後ハ毎年三月十五日已前ニ評定委員ノ會

頭ハ評定區ノ納税者ノ氏名及ヒ委員ノ確定シタル税額ヲ記入シタル明細書一通ヲ縣廳ニ差出スヘシ「シユレスイヒホルスタイン」ハノールヘツセスナツサウライン」河諸州ニ於テハ租税局毎ニ明細書ヲ作ルヘシ

又評定委員質問裁定ニ因リ變更シタル税額ハ會頭ヨリ縣廳ニ通知スヘシト雖モ縣内委員ニ於テ故障控訴ヲ裁定シタルニ因テ生シタル變更ハ委員長ヨリ直ニ縣廳ニ通知スヘシ

第二十五條 租税ヲ賦課スル費用ハ政府出納局ニテ擔當スヘシ評定委員ノ會頭ハ縣廳ニ精算書ヲ差出シ縣廳ヨリ仕拂ヲ命スヘシ評定委員ハ千八百七十三年五月十九日及ヒ千八百七十六年十二月廿日ノ分等收入税評定委員ノ旅費日當規則(普國法律全書千八百七十三

分等税及分等收入税法

年ノ二百二十五帖千八百七十七年ノ三帖)及ヒ千八百七十三年六月六日ノ布告ニ因テ旅費日當ヲ受クヘシ其精算書ハ會頭ニテ檢査確定シ縣廳ニ差出スヘシ

① 雛形 賦課年度評定區郡郷

評定委員ノ賦課シタル分等收入税ニ對スル控訴明細書

附記 大ナル郷ニシテ一評定區ヲ作ル所ニ於テハ住所ノ代リニ町名番號ヲ記スヘシ②ノ雛形ニ於ケルモ亦同シ

一	番號
二	收入明細書ノ番號
三	住所
四	納稅者 氏名身分

五	租 意	團結長官
六	税 意	評定委員ノ會頭
七	等 見	評定委員ノ確定(等級)
八	級 見	收入明細書ニ掲ケタル評定委員ノ家税證憑
九	評定委員會頭ノ控訴理由	
十	縣内委員長ノ意見	
十一	縣内委員ノ裁定	

② 雛形 賦課年度評定區郡郷

質問ニ付キ分等收入税評定委員ノ決議ニ對スル控訴明細書

一	番號
二	收入明細書ノ番號

分等税及分等收入税法

百九十三

三	納稅者	住所
四	氏名身分	
五	前年度	
六	該年度	
七	收入明細書ニ掲ケタル評定委員ノ課稅證憑	
八	質問ノ事柄	
九	評定委員會頭ノ質問意見	
十	評定委員ノ質問議決	
十一	評定委員ノ議決ニ對スル控訴ノ理由	
十二	縣内委員長ノ質問意見	
十三	縣内委員ノ裁定	

地稅規則 千八百六十一年五月二十一日發

千八百十年十月二十七日千八百十一年九月七日ノ地稅規則ヲ他日發スヘキ約束千八百二十年五月三十日ノ租稅規則ニ掲ケタル約束千八百五十年一月三十一日ノ憲法第一百一條ヲ施行スル爲メ及ヒ千八百五十年二月二十四日ノ地稅ノ特權ヲ廢スル規則ヲ施行スル爲メ「ホーエンツオエレルシ」及ヒ「ヤーデ」地方ヲ除キ全國內ニ兩院ノ許可ヲ得テ左ノ條々ヲ布告ス

第一條 後來ハ地稅ヲ左ノ二種ニ分ツヘシ

- ①家屋及ヒ其所屬ノ空地庭園ヨリ家屋稅ノ各ヲ以テ取立ツヘキ者
- ②①ニ掲ケタル者ヲ除キ收入アル土地ヨリ純粹ノ地稅ノ各ニテ取立ツヘキ者

地稅規則

家屋税①ノ名ヲ以テ取立ツヘキ庭園ノ面ハ一「モルゲン」以下タルヘシ之ヨリ大ナル庭園ハ地税②ヲ賦課スヘシ

第二條 家屋税(第一條①)ハ本日發シタル規則ニ因テ之ヲ取立ツヘシ

第三條 地税(第一條②)ハ「ホーエンツオルレン」國「ヤーデ」地方ヲ除キ全國ニ於テ千八百六十五年一月一日ヨリ千萬「ターレル」ノ年額トス其高ハ各州及ヒ特別ノ地税法ヲ設ケタル各郷内ノ土地ノ純益ヲ調査シテ之ヲ平等ニ配當スヘシ各州及ヒ各郷ニ配當シタル地税高ハ定額ニシテ政府出納局ニ對シ租税ヲ完納スヘキ土地ノ出入アルニ非サレハ(第四條第十條)政府ノ需求ニ因リ法律ヲ以テ之ヲ増減スルコトヲ得

州郷ニ於テハ其税高ヲ各郡ニ郡ニ於テハ各村里ニ村ニ於テハ各土地ニ其純益ニ因テ平等ニ配當スヘシ

第四條 左ニ掲クル土地ニハ地税ヲ課スヘカラス(第三條)

①政府所屬ノ土地

②古獨逸直轄ノ侯伯ノ所有地ハ千八百二十年五月三十日ノ規則第二十四條(普國法律全書八十一帖)ノ範圍ニ因リ免稅スヘシ但特別ノ契約ヲ以テ其權ヲ放棄シタル者ハ格別ナリ

③州郷郡村里所屬ノ公用ニ供スヘキ土地特ニ道路明地橋梁馬車道歩行路曳船道小川井戸航行ノ掘割港口造船場陸揚場寺院地埋葬地遊歩場植物園及ヒ明地道路公園ノ草木ヲ培養スル土地

④政府ノ許可ヲ經テ一箇人又ハ株式會社ヨリ公益ノ爲メ設ケタル

地税規則

橋梁道路鐵路航行掘割

百九十八

⑤舊來地稅ヲ免シ此規則發行ノ際「プロテスタント」カトリック「宗
ノ寺院公立學校又寺院學校保存ノ爲メ寄附シタル資本又ハ慈惠
ノ寄附金ニ屬スル土地又ハ僧侶教師ニ給與シタル土地

第五條 其他舊來地稅ヲ免シ又ハ減シタル土地ハ千八百六十五年一
月一日ヨリ第三條ノ規則ヲ施行シ調査シタル純益相當ノ地稅ヲ課
スヘシ

免稅減稅ヲ廢スルニ因リ給スヘキ損害ノ償ハ之カ爲メ本日發シタ
ル規則ニ從フヘシ

第六條 地稅ヲ配當スル爲メ土地ノ純益ヲ調査スルニハ(第三條)附
錄ノ執行法ニ從フヘシ其調査費ノ西ノ二州ニ係ルモノハ其州ニ於

テ東六州ニ係ルモノハ其州ニ於テ擔當スヘシト雖モ暫時政府出納
局ニテ之ヲ立替調査終リタル後年賦ヲ以テ漸次ニ完納スヘシ

第七條 各州各鄉(第三條)ノ土地純益ヲ調査シ千八百六十五年一月
一日ヨリ政府出納局ニ完納スヘキ稅額ハ國王ヨリ布告ヲ發シテ之
ヲ定ムヘシ又同時ニ東六州ニ於テ其稅額ヲ配當取立テノ爲メ假ニ
布告ヲ發シテ之ヲ定ムヘシ

第八條 第三條ノ稅額ノ配當取立法ハ東六州ノ爲メ別ニ法律ヲ發シ
テ之ヲ確定スヘシ又其法律ニハ特ニ災厄ニ遭フタル納稅者ノ免稅
ヲ定メ及ヒ土地附屬ノ權利土地使用權ヲ有スル者ヨリ土地ノ爲メ
出金スヘキ金額ヲ定ムヘシ

第九條 一定ノ稅額ヲ各土地ニ配當スルニハ西二州ニ於テハ舊來ノ

地稅規則

百九十九

地稅登記簿ニ因リ州會ノ意見ヲ聞タル後國王ヨリ布告ヲ發シテ之ヲ定ムヘシ

第十條 舊來租稅ヲ免シタル土地(第四條)其性質ヲ失フタルトハ其翌月ヨリ第三條ノ規則ニ因リ調査シタル純益相當ノ地稅ヲ課スヘシ

舊來租稅ヲ課シタル土地第四條①②③ノ土地ニ變スルトハ其翌月ヨリ免稅スヘシ

舊來租稅ヲ課シタル土地「プロテスタント」「カソリック」、寺院等(第四條④)ノ所屬ト爲ルトハ以後モ亦其稅ヲ取立ツヘシ然レモ寺院ノ所屬ト爲リタル土地第四條ノ①ヨリ③マテノ土地ナルトハ第三條ノ規則ニ因リ調査シタル純益相當ノ地稅ヲ課スヘシ

土地ニ建築スルカ又ハ明地庭園ニ建築シ爲メニ家屋稅ヲ完納スヘキトハ(第一條)家屋稅ヲ完納スヘキトヨリ地稅ノ義務ヲ免カルヘシ又舊來家屋稅ヲ完納シタル土地ハ地稅ヲ完納スヘキトヨリ其義務ヲ免カルヘシ

其他舊來租稅ヲ課シタル土地ハ潰地ト爲ルカ又ハ收入力ヲ失フニ非サレハ其義務ヲ免カル、トヲ得ス

第十一條 千八百六十五年一月一日ヨリ此規則ニ抵觸スルモノハ都テ廢止タルヘシ

大藏卿ハ此規則ヲ施行シ且必用ナル布達ヲ發スヘシ

土地ノ純益調査法 同年同月日

地稅規則

土地ノ純益ヲ調査スル爲メ左ノ布達ヲ發シタリ

第一總則

第一條 土地ノ純益ヲ調査スル目的ハ(家屋ヲ除ク)其純益ニ應ジテ
稅額ヲ州郷ニ州郷ニ於テハ各郡各村里各村里ニ於テハ各土地ニ配
當シ易カラシムルナリ

第二條 純益ヲ調査スルニハ左ニ掲クル土地ヲ除クヘシ

①本日ノ規則第四條①②ニ因リ免稅スヘキ土地

②家屋ヲ有スル土地及ヒ所屬ノ空地庭園ヲ除クヘシ但其庭園ハ一

「モルゲン」以下タルヘシ「モルゲン」以上ナルハ其全部ノ純益

ヲ調査スヘシ

本日ノ規則第四條①②ノ土地ハ後來モ亦免稅スヘシト雖モ此

布達ニ因リ其純益ヲ調査スヘシ但其純益ニ稅額ヲ(第一條)配當
スヘカラス

第三條 純益トハ土地ノ總收入高ヨリ耕作費ヲ引キ每年所得スヘキ
殘額ヲ云フナリ耕作法ノ善惡ハ其純益ヲ調査スルニ當リ中等ニ看
做スヘシ

他ノ土地ト連續シ又ハ製造場ヲ有スルカ爲メ其價ヲ増スモ之ヲ算
入スヘカラス

土地ニ權利義務ノ附着スルモ亦使用ノ義務アルモ之レニ關係スヘ
カラス

第四條 土地ノ純益ハ所有ノ如何ニ拘ハラズ耕作法及ヒ地質ノ善惡
ニ因テ定ムヘシ

第五條 耕作法ニ左ノ種類アリ

① 耕地

② 花實園

③ 艸原

④ 牧畜地

⑤ 樹木林

⑥ 沼地

⑦ 荒蕪地

一 耕地トハ主トシテ穀類ヲ作ル地ニシテ時トシテハ牧艸食用艸草實ヲ作ルコアリ

二 菜實園トハ棚ノ有無ニ拘ハラズ主トシテ野菜食用草實苜蓿菜實苜

荷花卉ヲ作り又ハ樹木ヲ培養スル土地ナリ山林内ノ園地遊園地ハ其主トナル目的ニ因テ耕作法ヲ定ムヘシ

三 艸原トハ通常艸ヲ刈取ル土地ニシテ稀ニハ牧畜ヲ爲シ又ハ沙土ヲ掘取ルコアリ

四 牧畜地トハ主トシテ牧畜ノ用ニ供スル土地ナリ

矮樹ヲ繁茂スル土地モ其落葉ヲ拾取り又ハ肥料ヲ作ル用ニ供スルキハ牧畜地ニ算入スヘシ

五 樹木林トハ主トシテ樹木ヲ伐採スル土地ナリ

六 沼地トハ湖沼ノ如キ平素又ハ時々水ヲ滿テタル土地ニシテ其儘使用スルモノナリ

七 荒蕪地トハ以上ノ土地ニ屬セサルモノニシテ石灰汐石埴等ヲ掘

地稅規則

取ル土地ナリ

更ニ收入ナキハ之ヲ無用地トス

第六條 土地ヲ評定スル爲メ各郡又ハ郡内ノ各區(第二十六條)ニ於テ等級表ヲ作り各郡區ノ耕作法(第五條)及ヒ地質ノ善惡ヲ證明スヘシ

各郡區内耕作法ニ因リ其地質ノ善惡ヲ區別スヘキ等級ノ數ハ郡内ノ土地及ヒ收入ノ情況ニ因テ之ヲ定ムヘシト雖モ八級以上ヲ設クヘカラス

第七條 耕作法ノ各級ニ於テ「モルゲン」毎ニ其純益ヲ確定シ之ヲ等級表ニ記入スヘシ各級及ヒ耕作法「モルゲン」毎ニ確定シタル純益ハ則チ其地ノ定價トナルヘシ

第八條 各郡區内ニ於テ其耕作法ニ因リ土地ノ善惡ヲ評定シタル定價ヲ土地ノ全面ニ估計スルキハ郡内ノ總純益ヲ知ルコトヲ得

一州内ノ郡ヨリ生スル純益ヲ合算ス

各州ノ稅額ヲ確定スヘキ純益ヲ知ルコトヲ得

第二 評定手續ニ關スル官吏及ヒ委員

第九條 全國內評定ノ事務ハ大藏卿ニテ總轄スヘシ

大藏卿ニ附屬スル監督委員四名アリテ評定ノ事務ヲ監督シ特ニ國內ニ於テ平等ニ評定ヲ爲スコニ注意シ爲メニ各地方ノ情況及ヒ成ルヘク其事務結果ヲ詳細ニ報告セシムヘシ

第十條 大藏卿ヲ會長トシテ中央委員ヲ設クヘシ其委員ハ監督委員ノ全員大藏卿ノ命シタル鑑定人四名各州ノ爲メ兩院ヨリ撰舉シタ

地稅規則

ル者各二名ヨリ成ルヘシ

中央委員ハ等級表(第三十三條)ヲ確定シ舊來免稅減稅シタルモ後來地稅ヲ完納スヘキ土地所有者(第四十七條)ノ控訴ヲ裁定シ及ヒ評定ノ(第五十條第五十一條)終審確定ヲ爲スヘシ其委員ハ評定ニ付キ全國内各地方ノ情況及ヒ事務結果ヲ報告セシメ且其事務ヲ檢閱スル權アリ

第十一條 評定ノ事務ヲ指揮スル爲メ各縣内ニ大藏卿ヨリ主任者ヲ命スヘシ主任者ハ此布達ノ權限ノ外ニ一般評定事務ヲ平等ニ施行スルコトニ注意シ附屬委員及ヒ官吏ヲ監督シ且縣内委員(第十三條)ノ會長トナルヘシ(郡委員ナリ)

第十二條 測量ヲ指揮シ及ヒ其事務ヲ檢査スル爲メ各郡ニ於テ上等

測量家一名ヲ縣主任者ニ附屬セシムヘシ

第十三條 各縣ニ於テハ縣主任者(第十一條)ヲ會長ト爲シ縣内委員ヲ設クヘシ其人員ノ半數ハ州會ニテ撰舉シ他ノ半數ハ縣主任者ノ申立ニ因リ大藏卿ヨリ命スヘシ縣内ノ撰舉委員ニ久シク故障アリタルト代理ヲ爲サシメンカ爲メ州會ハ同時ニ相當ノ員數ノ補缺委員ヲ撰舉スヘシ

縣内委員ノ員數ハ各縣ニ於テ大藏卿ヨリ特ニ之ヲ定ムヘシト雖モ十名以下タルヘシ(會長ヲ除ク)

縣内委員ハ此布達ニ掲ケタル權利義務ノ外ニ縣内ニ平等ニ評定ヲ爲スヘキコトヲ監督シ之カ爲メ委員ヲ派遣シテ縣内及ヒ近隣ノ地質及ヒ耕作法ヲ調査セシメ等級表ヲ作ルノ補助ヲ爲シ評定ノ事務ヲ

検査シ不十分ナルモノヲ改正シ舊來免稅減稅シタル土地所有者ノ
評定ニ對スル故障ヲ裁定シ一切ノ評定事務ニ係ル意見ヲ中央委
員(第十條)ニ述フヘシ

第十四條 各縣内ノ評定事務ヲ指揮スル爲メ縣主任者(第十一條)ノ
申立ニ因リ大藏卿ヨリ郡主任者ヲ命シ其評定事務ヲ施行スル爲メ
郡内委員ヲ附屬スヘシ其人員ノ半數ハ郡會ニテ撰擧シ他ノ半數ハ
郡主任者ノ申立ニ因リ縣主任者(第十一條)ヨリ命スヘシ
郡内撰擧委員ニ久シク故障アリタルハ其代理ヲ爲サシメンカ爲メ
郡會ハ相當ノ員數ノ補缺員數ヲ撰擧スヘシ
郡内委員ノ員數ハ各郡ニ於テ縣主任者ヨリ之ヲ定ムヘシト雖モ十
名以下タルヘシ

郡主任者ニ會長タル郡内委員ノ權利義務ハ此布達ノ以下ノ條ニ揭
ケリ

第十五條 測量ノ事務ヲ施行スルカ爲メ上等ノ測量家第十二條ノ意
見ヲ聞キ縣主任者(第十一條)ヨリ測量家及ヒ機關手傳人數名ヲ命
スヘシ

第十六條 中央委員(第十條)縣内委員(第十三條)及ヒ郡内委員(第
十四條)ノ議決ハ過半數ニ因テ爲スヘシ可否同數ナルハ會長ノ
意見ニ從フヘシ
會長ハ委員ヲ召集シ議事ノ順序ヲ定ムヘシ委員ヲ召集スルニハ召
集狀ヲ發シ其送達書ノ受領書ヲ書類ニ付スヘシ
委員ハ出席人ノ多數ニ拘ハラズ議決スヘシ

第十七條 官吏ノ俸給官吏及ヒ委員ノ旅費日當測量家ノ手数料及ヒ千八百三十六年四月二十五日ノ費用規則第五條ハ大藏卿ノ申立ニ因リ國王ヨリ布告ヲ發シテ之ヲ定ムヘシ

第三 評定事務ノ豫備

第十八條 一切ノ官署ハ其權限内ニ於テ評定ノ事務ヲ補助スヘシ

第十九條 評定ノ事務ヲ始ムル前ニ縣廳ハ公告紙ヲ以テ此布達ヲ公告シ且其附屬官署官吏ニ於テ委員外ニ測量家ヲ補助シ其囑托ニ應スヘキコトヲ命スヘシ

第二十條 官署銀行團結及ヒ人民ハ縣内委員及ヒ郡内委員ノ囑托ニ因リ其所有ノ田畑圖面耕作趣向書測量簿地質善惡簿定價表租稅登記簿等ノ評定ノ用ニ供スヘキ者ヲ檢閲セシメ又受領證引換ニテ之

ヲ貸渡スヘシ

政府出納局ハ以上ノ官吏ニ貸渡シタル書類ヲ保存還付スヘキ責任スヘシ

第二十一條 郡長ハ其郡内ニ於テ左ノ書類ヲ作ラシメ之ヲ郡主任者ニ送付スヘシ

①「アルハベト」ノ順序ヲ以テ作りタル郡内村里ノ名稱書

②郡内統計概書統計概書ニハ又土地義務ヲ解放シタルカ未タ之ヲ終ハラサル大ナル地所及ヒ權利義務契約書其附屬圖面ノ有無ヲ掲クヘシ

③郡内政府所屬ノ地稅ヲ免シタルカ又ハ之ヲ免スヘキ土地名稱書
(本日ノ規則第四條①)

地稅規則

㊦ 村里ニ因テ區別シタル本日ノ規則㊦㊧ニ因テ後來モ亦免稅スヘキ土地名稱ノ概略

㊨ 村里ニ因テ區別シタル舊來免稅シタルモ後來租稅ヲ完納スヘキ土地名稱書

㊩ 千八百三十七年ヨリ千八百六十年マテ管轄市場ニ於ケル(マルチニ)市ノ價ニ因リタル郡内耕作物ノ定價表

以上ノ書類ヲ作ル手續及ヒ雛形ハ別ニ布達ヲ發シテ之ヲ定ムヘシ

第四 純益ヲ調査スル手續

① 田畑ノ圖ヲ作ル

第二十二條 地稅ヲ賦課スル爲メニ土地義務解放役所又ハ銀行ニ在

ル圖面ヲ使用スルコト能ハサルトハ別ニ田畑圖ヲ作ルヘシ各村各里ハ通常一田畑區トス

田畑圖ヲ作ルニハ①附録ノ布達ニ從フヘシ

㊰ 等級表ヲ作ル

第二十三條 郡主任者ハ(第十四條)郡内ノ評定事務ヲ指揮スヘキ者

ナレハ此布達ニ因リ事務ヲ施行セシムヘキ責メニ任シ特ニ第二十

一條ノ書類ヲ檢査シ時トシテハ其改正増補ヲ爲シ郡内ノ土地義務

解放ニ付キ土地義務解放官署ニ存スル書類測量及ヒ圖面ヲ檢閲シ

及ヒ其郡内ノ地質耕作法ヲ調査スヘシ

其調査及ヒ報告書ノ結果ハ之ヲ郡内ノ景況詳細書ニ作ルヘシ其詳

細書ニハ土地ノ純益ニ關係スル一切ノ景況ヲ詳細ニ記スヘシ

①附録ニ於テ景況詳細書ヲ作ルル時ニ着目スヘキ箇條ヲ集メタリ
 第二十四條 郡内委員(第十四條)ハ現在ノ證憑ニ因リ時トシテハ郡
 内ヲ巡廻シテ會長ノ書籍特ニ郡ノ景況詳細書(第二十三條)ヲ檢査
 シ其檢査及ヒ其他ノ調査ノ結果ヲ①附録ノ評定法ニ因リ假リニ
 雜形ノ等級表ニ起草スヘシ

第二十五條 等級表ヲ作ルニハ②附録ノ純益等級表ニ因リ郡内耕作
 地「モルゲン」ニ付キ其等級(第五條)ノ中等ノ純益ニ據ルヘシ
 委員ノ評定シタル純益ノ純益等級表ノ等級間ニ在ルルハ其調査シ
 タル純益ニ近接スル等級ニ確定スヘシ

第二十六條 郡内ノ土地ニ高低アルカ又ハ地質交通耕作法ノ異ルニ
 因リ自然之ヲ區別スヘキ時ハ其經界ニ因テ數箇ノ評定區ニ分ツ

ヲ得

委員ハ其區別ニ付キ別ニ詳細書ヲ作ルヘシ一郡ヲ數區ニ分チタル
 時ハ各區毎ニ等級表ヲ作ルヘシ

第二十七條 假リニ等級表ヲ作りタル後(第二十四條)郡内委員ハ郡
 内ヲ巡廻シテ更ニ之ヲ檢査シ必用ナル時ハ増補改正シテ之ヲ決定
 スヘシ

巡廻ノ時ハ又各評定級ノ地質ノ上面裏面及ヒ其價直收入ニ關スル
 情況ヲ調書ニ作ルヘシ其調書ニハ郡内ニ於テ最モ各級地質ヲ有ス
 ル地方各級地質ト土地ノ全面トノ權衡各級「モルゲン」ノ收入賣
 買貸付價及ヒ總級ノ通價ヲ記スヘシ

第二十八條 第二十七條ノ巡廻ヲ爲シタル後各級ニ付キ又其地質ニ

因リ土地ノ善惡使用方及ヒ所有者ノ表ヲ作り成ルヘク多ク種類ヲ
記入スヘシ其表ハ土地ノ性質收入ニ因リ等級表ヲ作ルキノ用ニ供
スヘキモノナリ

其表ハ③雛形ニ因リ之ヲ作り土地ノ位地所有者及ヒ隣佑ノ氏名田
畑區ノ名稱等ヲ記入シ何時ニテモ之ヲ見出シ易カラシムヘシ且此
表ハ調書ニ添フヘシ

第二十九條 等級表及ヒ土地ノ善惡使用方及ヒ所有者ノ表ヲ確定シ
タルキハ等級表ニ附屬書類ヲ添ヘ郡主任者ヨリ縣内委員ニ差出ス
ヘシ

第三十條 縣内委員ハ(第十三條)等級表檢査ノ爲メ先ツ委任ヲ派出
シテ郡内委員ノ評定事務及ヒ郡内ノ地質耕作方ヲ調査シ然ル後縣

内各郡ヨリ差出シタル等級表(第二十三條ヨリ第二十八條マテ)ヲ
詳細ニ檢査シ不十分ナル所ハ之ヲ改正スヘシ檢査ヲ爲スニハ左ノ
箇條ニ注目スヘシ

①縣ノ經界ニ在ル郡ヨリ差出シタル等級表ノ檢査ヲ爲スニハ其隣
縣ノ縣内委員ト協議スヘシ

②縣内委員ハ檢査ノキ郡内委員ヲ立會ハシムルコトヲ得

③等級表檢査ノ爲メ調査ヲ爲シタルコトニ付調書ヲ作り郡内委員ノ
評定ヲ改正スヘキキハ其理由又正當ナリトシタルキハ其旨ヲ記
入スヘシ

④臨檢ノ縣内委員ニ於テ評定ニ對シ故障ヲ申述ントシ協議整ハサ
ルキハ之ニ反スル意見ノ理由ヲ調書ニ附記スヘシ

第三十一條 第三十條ノ事務ヲ終リタル後郡公告紙等ヲ以テ等級表ヲ公告シ縣内各郡ノ郡會及ヒ郡内村里長ニ於テ其意見ヲ述ヘ又ハ故障ヲ爲スノ猶豫ヲ與フヘシ

故障ハ村里長ヨリ郡長ニテ等級表ヲ受取リタル日ヨリ四週間ノ期滿失權期限内ニ郡長ニ申述フヘシ六週内ニ郡會ヨリ郡主任者ニ書面ヲ以テ差出スヘシ

之カ爲メ各郡長ニ縣内ノ等級表又他縣ノ郡ニ經界スル郡長ニハ其郡ノ等級表及ヒ附屬書類ヲ縣主任者ヨリ送付シテ關係者ノ檢閲ニ供セシムヘシ

郡主任者ハ郡會又等級表及ヒ意見ヲ檢査スル爲メ郡會委員ヲ設ケタルトハ其委員ノ求メニ因リ言語又ハ文書ヲ以テ其詳細ヲ述フヘシ

郡會ノ意見ハ郡内委員ヨリ明細書ヲ以テ之ヲ縣内委員ニ説明スヘシ

第三十二條 縣内委員ハ郡會ノ故障ヲ檢査シ理由アリト認メタルトハ改正セシメ然ル後縣内ニ於テ三維形ニ因テ等級表ヲ作り各郡ノ等級表及ヒ附屬調書ヲ添ヘ縣主任者ヲ經テ大藏卿ニ差出スヘシ

第三十三條 大藏卿ハ其書類ヲ檢査シ不十分ナル所アレハ之ヲ改正シ且中央委員ヲ召集スヘシ(第十條)

中央委員ニ於テ各縣ノ等級表ヲ正當ナリト認メタルトハ全國內ノ等級表ヲ作り縣郡等級表ヲ副ヘ大藏卿ヲ經テ縣内委員ニ送付シ郡内委員ニ評定ヲ爲サシムヘシ

◎ 評定ノ手續

地稅規則

第三十四條 郡区内ノ土地ヲ評定スル爲メ郡主任者ニ於テ必用ナリトシタルハ一郡ヲ數箇ノ評定區ニ分チ郡内委員各二名ヲ派出セシメ(之ヲ派出評定委員ト云フ)自己ノ監督ヲ以テ所轄田畑區ノ評定ヲ爲サシムヘシ兩管間ニ異見ヲ異ニスルハ郡主任者之ヲ決スヘシ

評定區間ニ派出委員ヲ交代スルモ妨ケナシト雖モ成ルヘク之ヲ爲スヘカラス

第三十五條 田畑區ノ評定ヲ爲スニハ派出委員(第三十四條)實地ニ臨ミ土地ノ善惡使用方(耕作方ノナリ)及ヒ所有者ノ表(第二十八條)ニ因テ爲スヘシ

第三十六條 村里長ハ所轄田畑區ノ評定ニ立會ヒ派出委員(第三十

四條)ニ相當ノ辨明ヲ爲スヘシ

第三十七條 山林ヲ評定スルハ郡内委員ヨリ鑑定人ヲ立會シムルヲ得

山林ノ官吏ハ郡主任者ノ囑托ニ應スヘシ

第三十八條 派出委員ト郡主任者トノ間ニ評定ノ意見ヲ異ニスルハ縣内委員ノ裁定ヲ乞フヘシ

第三十九條 田畑區ノ土地ヲ評定スルニハ成ルヘク天然ノ經界ニ因リ純益ニ從テ所屬等級地ノ經界ヲ定ムヘシ

所屬等級地一「モルゲン」以下ナルハ之ヲ圍ム土地ニ又其土地所屬等級ヲ異ニスルハ性質收入ノ最モ近接スル土地ニ合併スヘシ然レモ兩地ノ收入又ハ所屬級ノ區別大ニシテ合併シタル土地ノ純

益十分ノ一以上増減スルモハ合併ノ限ニ在ラス
又一所屬級内ノ各種ノ土地三「モルゲン」以下ナルモハ同種ノ近接
スル土地ニ合併スヘシト雖モ合併シタル土地ノ純益百分ノ十以上
増減アルモハ格別ナリ

土地ノ性質位置ニ適ハサル臨時ノ使用ハ評定ニ關係ナシ
樹木ハ其土地及ヒ其樹木ノ收入高ニ因リ當時ノ價ニ拘ハラス一級
ニ評定スヘシ百「モルゲン」以上連續シタル林ニ於テ其地質材木其
他純益ノ區別大ナルモハ之ヲ數級ニ分ツコトヲ得

第四十條 評定スヘキ土地ニ混シタル舊來免稅減稅スルモ後來租稅
ヲ納ムヘキ土地(第二十一條^⑤)ハ其大小ニ拘ハラス別ニ評定スヘ
シ

第四十一條 第三十九條第四十條ニ因リ確定シタル等級地ノ經界ハ
耕作方及ヒ等級ノ番號ト共ニ田畑圖面ニ掲クヘシ

又地質ノ善惡使用法及ヒ所有者表ニ(第二十八條)所屬等級地ノ經
界トシテ掲ケタル者ニ付テモ亦同シ但其表何號云々ト附記スヘシ

第四十二條 縣内委員ハ委員ヲ派出シテ評定ノ事務ノ進歩及ヒ其施
行法ヲ調査セシムヘシ派出委員ハ又田畑區ノ評定ニ立會其施行ノ
當否ヲ目撃シ特ニ各種ノ土地ニ相當ノ經界ヲ定メタルモ否ヲ督シ
不十分ナル所ヲ改正セシムル權利義務アリトス

第四十三條 田畑區ノ評定ヲ終リタル後ハ所屬等級地舊來免稅減稅
シタル土地後來免稅スヘキ土地及ヒ家屋ヲ有スル土地ノ經界ニ因
テ定マリタル土地ノ區域ニ①附録ノ規則ニ因テ(第二十二條)番號

地稅規則

ヲ附シ且其範圍ヲ確定スヘシ
然ル後四雜形ニ因リ各田畑區ノ評定簿ヲ作り其土地ノ區域ノ耕作
方所屬等級及ヒ大小ヲ其番號ノ順序ヲ以テ記入スヘシ
評定簿ノ終尾ニハ五雜形ニ因リ各級ノ區域ヲ記入シ一田畑區内ニ
於テ各級ニ評定シタル土地ノ全躰ヲ見易カラシムヘシ

第四十四條 評定簿終尾ノ記入ニ因リ(第四十三條)六雜形ノ郡ノ概
略書ヲ作り郡區内總田畑區ノ各等級所屬地ノ全面及ヒ郡區内ノ土
地ノ全面ヲ見易カラシムヘシ
其弊略書ニハ土地ノ面及ヒ評定價ニ因テ郡區内各等級田畑區ノ純
益及ヒ各田畑區郡區内各級所屬地一モルゲン一ノ純益ヲ記スヘシ
㊦ 故障手續

第四十五條 評定ヲ終リタル後郡主任者ハ村里長ニ郡内ノ田畑圖面
評定簿ヲ檢閲セシメ且所轄田畑區評定簿ノ謄本ヲ送達シテ評定ノ
結果ヲ公告シ又同時ニ通知書ヲ受取リタル後四週間ノ期滿失權期
限内ニ評定ニ對シ郡主任者ニ故障ヲ述ヘ得ルコトヲ通知スヘシ故障
ハ郡區ノ等級表ニ對シテ申述フヘカラス止タ左ノ箇條ニ對シ申述
フルコトヲ得

- ① 土地ノ評定不當ナルニ付キ
- ② 土地範圍ノ調査不當ナルニ付キ
- ③ 等級表ノ所屬級不當ナルニ付キ
- ㊦ 計算上ノ錯誤ニ付キ

第四十六條 郡内委員ハ故障ヲ檢査シ其理由アリト認メタルハ直

地稅規則

ナニ不十分ナル所ヲ改正シ然ラサレハ評定書類ヲ添へ縣内委員ニ之ヲ説明スヘシ

第四十七條 縣内委員ハ評定書類ヲ檢査シ同時ニ未タ改正セサル故障ノ終審裁判ヲ爲スヘシ

㊦ 評定ノ結局

第四十八條 縣内委員ハ各郡評定ノ結果ニ付キ其方式事柄ノ意見書ヲ作り又縣内他郡及ヒ他縣ノ隣郡ノ結果ノ意見ヲ述へ其終尾ニ結果ヲ相當ナリト看做スヤ否及ヒ縣内等級表ノ全部又ハ一部ヲ平等ニ施行セシムル爲メ如何ナル改正ヲ爲スヘキヤ否ヲ記スヘシ

第四十九條 縣内評定事務ヲ終リ且縣内委員ヨリ意見書ヲ差出シタ

ルル縣主任者ハ郡ノ概略書(第四十四條)ニ因リ七雜形ノ縣ノ概略書ヲ作ラシメ之ニ一切調書ヲ副ヘテ大藏卿ニ差出シ大藏卿ハ之ヲ檢査シタル上改正スヘキ處ヲ改正シ然ル後自己ノ意見ヲ添ヘテ中央委員ニ差出スヘシ

第五十條 中央委員ハ現在ノ評定結果ニ因テ各郡ノ等級表ヲ更ニ檢査シ之ヲ認可スルカ又場合ニ因テハ所轄縣内委員ヨリ書類ヲ差出サシメ其委員ノ申立ヲ斟酌シテ終審ノ確定ヲ爲スヘシ

第五十一條 等級表ノ終審確定ヲ爲シタル後郡縣概略書(第四十四條第四十九條)ノ純益ヲ改正スヘキモノハ更ニ計算シテ別ニ概略書ヲ作り然ル後縣概略書ニ因テ州郷ノ概略書ヲ作り各州郷ノ總純益ヲ確定シ本日ノ地稅規則第三條ニ因リ確定シタル政府ノ稅高ヲ

收入調査ノ結果ニ因テ各州郷ニ配當スヘシ

第五 西二州ノ特別法

第五十二條 二州ニ於テモ土地ノ純益ヲ調査スル規則ニ從フヘシト

雖モ其地ノ情況ニ因リ左ノ如ク折衷スヘシ

一 第十二條第十五條ノ折衷、上等測量家ヲ命スルニ及ハス又測量家ノ事務ハ租稅登記簿官署ニテ爲スヘシ

二 第二十一條折衷、第二十一條ノ書類ハ所轄租稅登記簿監督官ヨリ郡主任者ニ差出スヘシ

其他監督官ハ租稅評定書類特ニ等級區ノ圖面等級概畧書評定ノ爲メ巡覽シタル調書統計表等級表ノ調書純益調査及ヒ定價確定ノ調書純益ノ總價明細書其他租稅評定ニ係ル調書書類ヲ差出ス

ヘシ

三 第二十二條ノ折衷、別ニ田畑區ノ圖面ヲ作ルニ及ハス租稅登記簿ノ圖面ヲ用ヒ且田畑區ノ經界ハ登記簿ニ掲ケタル村里ノ經界ニ從フヘシ

四 第二十六條ノ折衷、等級表ヲ作ルニハ租稅登記簿ヲ一區ト看做スヘシト雖モ其區ハ數郡ニ跨カルヘカラス

五 第二十八條ノ折衷、土地ノ善惡使用所有者表ニハ租稅登記簿田畑ノ番號ヲ記シ第二雜形ヲ之ニ應シテ改正スヘシ

六 第三十四條ノ折衷、等級表ノ各級ノ評定ヲ爲スニハ村里ノ經界ニ從ヒ且登記簿區ノ村里ニハ(等級表第四)成ルヘク同郡内委員ニテ評定スヘシ

地稅規則

七 第四十三條折衷、評定簿及ヒ其附錄(第四第五雜形第四十三條)ニハ租稅登記簿田畑ノ番號ニ因テ各種ノ土地ヲ記入シ其範圍ハ土地ノ善惡使用及ヒ所有者表ニ從テ改定シ租稅登記簿ノ一部ヲ評定スヘキハ其一部ヲ評定セスシテ其全部ヲ評定シ第四第五ノ雜形モ亦從テ改正スヘシ

八 第四十四條折衷各郡ノ評定ノ結果ハ村里及ヒ登記簿區ニ因テ第六雜形(第四十四條)ノ評定簿ニ記入スヘシ又其評定簿ニハ登記簿ノ土地ノ全面及ヒ各區ノ收入ヲ等級ニ分テ記入スヘシ

第六 末則

第五十三條 大藏卿ハ此布達ヲ施行スルニ必要ナル規則ヲ發スヘシ又大藏卿ニ於テ實際ノ經驗ニ因リ必要ナル改正ヲ爲スコトヲ得レ

評定ノ總則ヲ變スルコトヲ得ス

第一 雜形「第二十四條」何縣何郡區

等級表

耕作法	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級
耕作地 菜園 艸原 牧畜地 樹木林 沼池 荒蕪地	モ	ル	ゲ	ン	ニ	付	キ	純
	ベ	ル	シ	ロ	グ	ル	シ	ヘ
	ス	ヘ	シ	テ	以	テ	算	ス

地稅規則

年月日

郡内委員署名

二百三十四

第二 雜形「第二十八條」何縣何郡區

土地ノ善惡使用及ヒ所有者ノ氏名表

一	二	三	四	五	六	七	八	九
番號	田畑區ノ名稱	耕作法	等級	土地上面ノ成分	上面ノ厚サツオルヲ以テ計算スヘシ	裏面	方位ニ因テ定メタル位地及ヒ高低 乾濕其他特別ノ性質	所有者ノ氏名住所

十	十一
位地ノ名稱	近隣ノ土地ニ接スル圖面

月 日

郡内委員署名

第三 雜形「第三十二條」何縣 月日縣内 委員署名 縣等級表

番號	郡「郡ハアルハベトノ順序ヲ以テ記入スヘシ」	各區
一	耕	一級 二級 三級

地稅規則

二百三十五

付													
地 畜 牧						原 草							
七級	六級	五級	四級	三級	二級	一級	八級	七級	六級	五級	四級	三級	二級

ル													
園 實 業								地 作					
一級	八級	七級	六級	五級	四級	三級	二級	一級	八級	七級	六級	五級	四級

益 純												
蕪 荒		池 沼		林 木 樹					八 級			
二 級	一 級	三 級	二 級	一 級	八 級	七 級	六 級	五 級	四 級	三 級	二 級	一 級

地 三級

第四 雜形 [第四十三條]

何縣何郡區
何田畑區

月 日 某製之身分 署 名

月 日 檢 閱 郡内委員署名

評定簿

一	二	三	四	五	六
① 租稅ヲ 納ムヘキ 土地	イ 舊來ノ納稅地 モルゲンヘシテ	ロ 舊來ノ免稅減稅地	耕作法	等級	圖面ノ番號 各種ノ土地番號

地稅規則

七	⑩ 免稅地「布達第二十一條(ハニ)」
八	⑨ 陸「道路鐵道等」
九	⑧ 水「河小川等」
十	⑦ 家屋間ノ空地「布達第二條⑥」

二百四十

第五 雛形「第四十三條」

何縣何郡區
何田畑區
署 名

田畑區ノ土地全表

一	耕作方	圖面	ヨリ
二	耕作方	圖面	ヨリ
三	耕作方	圖面	ヨリ
四	耕作方	圖面	ヨリ

五	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	五ヨリ十二部マテノ總計
六	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	
七	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	
八	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	
九	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	
十	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	
十一	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	
十二	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	
十三	評	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	定	

モルゲンニテ計算スヘシ
殘 數

再ヒ明細ノ評定ヲ示ス

一	耕作方	イ	一	地作耕	地實菓	地草	地畜牧	林木樹	池沼	地蕪荒	地益無
二	耕作方	イ	一	地作耕	地實菓	地草	地畜牧	林木樹	池沼	地蕪荒	地益無

地稅規則

二百四十一

二 ヨ リ 九 部 マ テ ノ 總 計	定			
	八	七	六	五
	級	級	級	級
	◎條十第布地 ①一三邊			
	+條第布地上+ ①二邊			
總計				

五 四 三 二 一	評	耕 作 方	定					
			八	七	六	五	四	三
			級	級	級	級	級	級
稅 免		ロ	地 稅 納 地 稅 納 ノ 來 舊					
	地作耕						
	園實菓						
	原 草						
	地畜牧						
	林木樹						
	池 沼						
	地蕪荒						
	地益無						
+入收メ爲ルス供ニ用公		ハ	地 稅 減 稅 免 ノ 來 舊					
等地郡理道鐵路道 陸		一						
等川小河 水		二						
條第布等地空ノ間屋家 ①二邊		ニ						

第六 雜形 第四十四條

何縣何郡縣ヲ
某區ニ分ツ

某製之「身分」署名

月 月
日 日

郡概畧書 附錄

田畑區ハ郡内ニ於テ「アルハベト」ノ順序ヲ以テ記入スヘシ郡ヲ數區ニ
分チタルハ區内ニ番號ヲ定ムヘシ

區 畑 田 何 號 何 區											
計 ノ 總 ① ②	地 稅 免 ^②		地 稅				納 ^①		定 價 シ ル ベ ル	等 級	耕 作 法
	純 益 土 地 ノ 面	土 地 ノ 面	純 益	土 地 ノ 面	地稅減稅免來苗二		地稅納來苗一				
					純 益 土 地 ノ 面	土 地 ノ 面	純 益 土 地 ノ 面	土 地 ノ 面			
										二三四五六七八	耕作地
										二三四五六七八	菜園
										二三四五六七八	草原
										二三四五六七八	牧畜地
										二三四五六七八	樹木林
										二三	沼池
										無益地
										總計
										道路等
										川河 等小
										空地等 （家屋間ノ）
										ノ二 高口

①附録(第二十二條)

田畑區圖面ヲ作り及ヒ土地ノ面ヲ確定スル布達 千八百六十一年

五月二十一日

第一條 田畑區圖面ヲ作ルニハ成ルヘク現在ノ圖面ヲ寫スヘシ已ム
ヲ得サル場合ニ非サレハ新タニ之ヲ作ルヘカラス

第二條 現在ノ圖面ヲ寫スニハ成ヘク原圖ノ尺度ニ依ルヘシ原尺度
ヲ用フルト能ハサルモハ騰寫ノモ相當ノ大ナル尺度ヲ用フヘシ
圖面ヲ寫スニハ原圖ヲ作りタル以來耕作法等ノ變更ヲ記入スル等
總テ此第五條ヨリ第十三條マテノ規則ニ應シテ作ルヘシ特ニ分割
シタル田畑ノ高ニハ分割シテ與ヘタル代リニ受ケタル土地ノ經界
ヲ記スヘシ

新タニ圖面ヲ作ルニハ土地ノ性質ニ因リ自然ノ大小二千五百分ノ一ヨリ五千分ノ一マテノ尺度ヲ以テ各地ノ大小(第十七條)ヲ記スヘシ

第三條 田畑圖面ニ用ユル紙ハ「グロースアードレル」紙ニテ三十八「ツオル」ノ長サ二十六「ツオル」ノ幅ヲ有シ且必用ナルルハ「ツオル」ノ縁ヲ餘シ圖ヲ描クヘシ田畑大ニシテ相當ノ尺度ヲ用フルルハ一紙ニ圖ヲ引クヲ能ハサレハ數葉ニ分ツヘシト雖モ各葉ヲ並ヘテ全圖ト成ラシムヘシ現在ノ圖面ニ因テ作りタルルハ原圖ノ葉數ヲ用フルヲ得レト以上ノ範圍ヲ越ユヘカラス

第四條 田畑區ノ圖面ニ用フル記標ハ第一附録ニ因ルヘシ
第二附録ニハ圖面ノ雛形ヲ掲ケリ

第五條 圖面ニハ耕作ノ經界道路鐵道河小川等土地ヲ評定スルニ當リ等級ヲ區別スル(第十六條)根據ト爲スヘキ點線ヲ掲クヘシ(例ヘハ一里標石大ナル石十字架標柱橋梁大ナル樹木時トシテハ矮樹林柵欄其他經界線)

第六條 田畑小區畫及ヒ各地ノ經界ヲ圖面ニ記スルニハ大ナル費用時間ヲ要スルルハ第五條ノ經界ニ合併スル者ノミヲ記スルヲ以テ足レリトス「モルゲン」以下ノ土地ハ別ニ之ヲ記スルニ及ハス其周圍ノ土地ニ合併スヘシト雖モ其耕作法ヲ異ニスルルハ最モ類似ノ土地ニ合併スヘシ

第七條 田畑區ノ圖面ニハ特ニ左ノ土地ヲ記スヘシ

①舊來免稅減稅シタレト後來地稅ヲ納ムヘキ土地ノ經界(前布達

第二十一條(市)

Ⓐ 後來モ亦地稅ヲ免スヘキ土地ノ經界(前布達第二條①第二十一條①②)

Ⓑ 家屋ヲ有スル土地空地庭園ノ經界(前布達第二條①②)ノ土地ハ其所有ノ經界ニ因テ格別ニ之ヲ記スヘシト雖モ③ノ土地ハ其全面則其土地ノ周圍ヲ示スヲ以テ足レリトス但後來地稅ヲ納ムヘキ他ノ土地ヲ圍ムルハ格別ナリ

又舊來軍人ヲ賄フ義務アルカ又ハ免稅減稅シタル鄉所屬ノ田畑ハ其所有ノ經界ニ拘ハラズ全面ヲ記スルヲ以テ足レリトス(此

第五條第六條ノ耕作法等ノ經界ニ因テ之ヲ記スヘシ)

第八條 第七條①②ノ土地ヲ記スルニハ最モ注意スヘシ

前布達第二十一條ノ書類ニ掲ケタル①②ノ土地ハ實地ニ臨ミ又ハ現在ノ圖面ニ因テ調査スヘキノミナラス其書類ノ正否モ亦調査毎ニ之ヲ檢査シ不當ナル所ヲ發見シタルトハ之ヲ附記スヘシ
已ニ地稅ヲ納ムル土地ヲ舊來免稅減稅シタル土地(特ニ武士領地)ニ合併シタルニ因リ其位地及ヒ範圍ヲ證明スルコト能ハサルトハ其全面ノ所有經界ヲ測量シテ圖面ヲ作ルヘシ

第九條 田畑區ヲ記スルニハ現在ノ圖面及ヒ經界調書ニ因テ先ツ經界ヲ確定スヘシ必用ナルトハ更ニ經界ヲ巡覽スヘシ
經界ヲ確定ニ關係スル村里長ハ巡覽ニ立會ハシムヘシ(此第十四條)

第十條 村里ノ部他ノ村里ノ田畑區ニ據テ圖マレタルトハ(圖マレ

地)其田畑區ニ合併シテ圖面ヲ作り明カニ其部ヲ記スヘシ村里ノ一部圖マレ地ニ非サルモ他ノ村里ノ田畑内ニ突出スルモハ相當ノ部分ニ於テ之ヲ切斷シ圖面ニ其部ヲ記スヘシ

里ト農區ト混シタルモハ其田畑ヲ一圖面ニ作り其經界ヲ記スヘシ

第十一條 田畑ノ經界ニ付キ爭ヲ生シ直チニ裁定ヲ爲ス可能ハサルモ其地相當ノ經界ヲ定メ之ヲ圖面ニ記スヘシ

第十二條 評定ノ爲メ田畑區又ハ其他ノ經界ヲ定ムルモ之ニ因テ村里ノ權利ヲ害スルモノニ非ス

第十三條 國境ニ接スル田畑區ノ圖面ヲ作ルニハ現在ノ國境條約ニ因リ且經界表ヲ圖面ニ記スヘシ

第十四條 村里長及ヒ武士領地第七條①②ノ土地ノ小作人使用者ハ

命令ニ從ハサルモノ損害ヲ示シ田畑及ヒ田畑内ニ在ル土地ノ經界自己又ハ土地ノ位地及ヒ所有ノ關係ヲ熟知スル者ヲシテ届出デシムヘシ

政府ノ所屬地ヲ監督管理スヘキ官吏小作人等ハ必ス其命ニ從フヘシ命令ハ書面ヲ以テシ其受領證ヲ書面ニ添フヘシ

第十五條 命令ヲ爲スモ(第十四條)義務者ヨリ其經界ヲ届出サルモハ現在ノ經界ヲ圖面ニ作ルヘシ後日改正ヲ要スルカ又ハ改正ヲ求メタルモハ命令ニ背キタル村里長等ヲ以テ圖面及ヒ書類ヲ改正スヘシ

又正當ノ届出ヲ爲サ、リシモ同シ

第十六條 土地ノ善惡使用及ヒ所有者ノ氏名及ヒ等級經界ハ評定ヲ

爲ス其田畑圖面ニ記入スヘシ(前布達第四十一條)

第十七條 舊來免稅減稅シタルモ 後來租稅ヲ納ムヘキ土地(第七條

①) 後來モ亦免稅スヘキ土地(第七條②)及ヒ家屋ヲ有スル土地(第七條ノ③)ノ各種(第五條)等級(第十六條)ノ經界田畑區(第九條)

第十條ノ經界線又ハ圖面各葉ノ經界(第三條)ニ因テ區別シタル土地ノ面及ヒ其面ノ部分ハ田畑毎ニ又其圖面ヲ數葉ニ分チタルモ各葉毎ニ番號ヲ附スヘシ

第十八條 土地ノ面ノ大小ハ田畑區圖又ハ現在ノ測量簿等ニ因テ確定スヘシ

其大小ハ「モルゲン」及ヒ其十分一ノ數ヲ以テ記スヘシ

第十九條 上等測量家ハ實地ニ臨テ測量ノ事務ヲ檢閲シ不十分不正

ナル所アレハ之ヲ改正シ事務ニ延滞アレハ相當ノ處分ヲ爲スヘシ又測量家ノ事務規則ニ適スルヤ否ヲ檢査シ正當ト認メ又ハ之ヲ却下スヘシ却下シタルモ更ニ圖面ヲ作ラシムヘシ
上等測量家ノ署名シタル書類ハ規則ニ適シ正當ナル者ト看做スヘシ

第二十條 檢査ヲ爲スニハ圖面書類ヲ檢閲シテ法式手續ニ適スルヤ否ヲ檢査スルノミナラス又

① 近隣田畑圖ト對照シテ其連合ヲ檢シ一田畑區内ニ於テハ各葉ヲ對照スヘシ

② 實地ト圖面トヲ對照スヘシ

③ 實地ニ於テ更ニ測量スヘシ

地稅規則

③土地ノ大小ヲ更ニ計算スヘシ

第二十一條 田畑區圖ヲ作り土地ノ面ノ大小ヲ確定シ測量ヲ檢査スル細則ハ大藏卿ヨリ別ニ布達ヲ發シテ之ヲ定ムヘシ

④附錄(第二十三條)

郡ノ詳細圖ヲ作ルルニ注意スヘキ要件

一 郡ノ位地大小經界

二 一般土地ノ形狀

①郡ノ全部又ハ一部ニ高低アルヤ否

②如何ナル山脈アルヤ否

③地面ノ形ニ因リ耕作ニ妨害ヲ生スルヤ否

④如何ナル湖河小川アルヤ否

⑤如何ナル沼アルヤ否

⑥土地ノ形狀位置ニ因テ水流ヲ妨クルヤ如何ナル地方ニ洪水ノ恐レアルヤ否

三 氣候

①氣候上土地(第二)ノ關係

②通常ノ最モ害アル風向

③土地ヲ荒ラス暴雨風雹

④草木上氣候ノ關係

⑤春秋ノ耕耘種蒔穀物及ヒ草ノ收穫等ノ初期及ヒ時間

四 一般土地ノ性質

①土地ノ混合及ヒ構造

⑩瘠土等ノ有無

五 隄防乾水及ヒ灌水ノ仕掛乾水管

六 交通器

①鐵路及ヒ道路水路

②田畑ノ徑ノ形狀

七 人口

①邑村里ノ人口及ヒ土地大小ノ對照

②邑村里ノ數

③商業製造鑛山金銀分析其他農業附屬ノ製作例へハ麥酒燒酎煉化人參製ノ砂糖製作等

④貧富特ニ分等稅分等收入稅營業稅ノ收入高

八天然物

①礦物

②植物

一穀類穀實

二食用實

三野菜菜實葡萄

四商業ニ用フル草

五樹木

六食用ノ多少及ヒ賣捌ノ道路輸入

七一ヨリ五マテノ生産物ノ通價

③動物

地稅規則

- 一 邑村里ノ動物ノ多少及ヒ土地ノ大小人口トノ對照
- 二 動物ノ性質種類
- 三 動物ノ疾病
- 四 動物ノ養方使用方
- 五 賣捌ノ道路等
- 六 動物及ヒ其製作物ノ通貨
- 九 土地ノ分割
 - ① 土地分割ノ大小所有ノ數員大小共同牧畜所等
 - ② 耕作ノ大小
 - ③ 土地義務解放等
 - ④ 土地ト家屋トノ位置及ヒ其距離

十 耕作方

- ① 主トスル耕作但村里ノ田畑ニ於ケル耕作ニ付キ
- ② 雇人及ヒ職工ノ多少其賄費及ヒ備貸但勞力ノ多少ヲモ記ス
ヘシ
- ③ 車馬ノ多少種類二疋立カ及ヒ耕作器ノ種類
- ④ 肥料石灰、灰、埴木葉、其他肥料ニ代用スル者使用及ヒ性質
- ⑤ 山林ノ培植法
- 十一 土地賣買又ハ貸付
 - 大中小土地ノ全部又ハ一部ノ賣買貸付價但十年間ノ通價ニ從ヒ
 - 又成ヘク動産製造場等ヲ合シタルキハ其價ヲモ記スヘシ

⑥ 附錄(二十四條)

地稅規則

土地ノ純益ヲ評定スル法

第一條 郡區ノ等級表ヲ作ル爲メ各別ノ純益ヲ精算スルニ及ハス郡内委員ハ郡内土地ノ純益ニ關係アル箇條ヲ集メ各耕作法ノ最上ノ土地ト最下ノ土地トヲ對照シテ中等ノ等級ヲ定メ且布達第六條ニ因リ各耕作法ヲ區別スヘキ等級ノ員數ヲ定ムヘシ
左ノ條々ニ於テハ評定ノ方法ヲ示シタルモノナリ

第二條 各耕作法ノ評定價ハ之ヲ相當ノ階級ニ分チ其評定價ヲ各地ニ準シテ中等ノ純益ヲ確定スヘシ中等ノ純益トハ通常ノ耕作ニ因リ必用ナル耕作費ヲ引キタル後數年間ノ通價ヲ以テ得ヘキ利益ヲ謂フナリ耕作費中ノ勞力賃ハ官吏職人傭人等ニ官宅飲食等ヲ給セスシテ仕拂フヘキ高ヲ云フ

第三條 生産物ノ價直ハ千八百三十七年ヨリ千八百六十年マテノ生産物ヲ「マルチニ」市ニ於テ賣買シタル價ノ通價ニ因ルヘシ但二年間ノ沸騰價ト下落價ヲ引去ルヘシ

第四條 評定價ノ當否ハ特ニ土地ノ賣買貸付價ト對照シテ之ヲ檢査スヘシ賣買貸付價トハ代價貸賃ノ利子ヲ得ンカ爲メ通常ノ資本ヲ入レ其等級耕作法ノ中等ノ土地「モルゲン」ニ付キ買受人借受人ヨリ拂ハント欲スル價ヲ云フ

第五條 郡區内ニ於テ現在ノ收人ヲ得ルニハ繼續シテ特別ノ費用ヲ要スヘキ土地アルトハ等級表ヲ確定スルニ當リ之ニ注意シ其費用ヲ土地ノ價ニ合算スヘシ
特別費トハ土地ヲ保護シ又ハ其設置ナケレハ全ク收入ナキカ又ハ

現在ノ收入ナキ河岸堤防溝洫塙壁等ノ保存費其設置ニ因テ收入ヲ増加スヘキ水落水引仕掛乾燥管等ノ保存費及ヒ山麓ノ葡萄畑ノ塙壁保存費等ヲ云フ然レモ以上ノ設置費ノ利子ヲ合算スヘカラス但已ニ其費用ヲ仕拂ヒタルト否トニ拘ハラヌ又其元利ヲ償却シタルト否ヲ論セス

第六條 耕作地ノ等級表ヲ作り各級ヲ評定スルニハ舊來人口ノ改良法ヲ用ヒス且附屬製造場ナキ區内ノ通常ノ耕作法ニ依ルヘシ

第七條 菓實園ノ評定價ハ耕作地又ハ他ノ耕作法ヲ用フル土地ノ定價ニ準シテ之ヲ定ムヘシ

特別ノ方法ヲ以テ收入ヲ増加シタルカ又植木職ノ作りタル庭ハ其性質同一ナル他ノ庭ヨリ高ク評定スヘカラス

葡萄畑ヲ評定スルニハ上中下等ノ收穫凶歲及ヒ肥料收穫費葡萄ノ幹ヲ支フル杭ノ保存費毎年ノ増殖ヲ計算スヘシ

葡萄ノ價直ハ千八百三十七年ヨリ千八百六十年マテノ最初ノ收穫ノ通價ニ因ルヘシ

第八條 晒シ場ニ供スル草野ハ晒ノ收入ニ拘ハラヌ其性質位置ニ因テ等級ヲ定ムヘシ

第九條 樹木林ヲ評定スルニハ土地ノ生産力主トナル樹木ノ種類ニ因ルヘシト雖モ陪養時間ヲ合計シ凶歲及ヒ保護管理費及ヒ伐木賃運送費陪養費ヲ扣除シ純益定價表(布達第二十五條附錄㊸)ノ收入高三因テ確定スヘシ評定ノ時繁茂スル樹木ノ價ヲ計算スヘカラス

第十條 栗林牧畜場ニ樹木ヲ培養シタル土地等ハ其純益ニ因リ樹木
林ノ等級ニ算入スヘシト雖モ其等級不足ニシテ其範圍大ナルキハ
特別ノ等級ヲ設クヘシ但布達第六條ノ樹木林八級ノ數ヲ越ユヘカ
ラス

第十一條 土地ニ培養シタル特別ノ雜木ハ土地ノ收入ヲ増減スルニ
拘ハラズ之ヲ計算スヘカラス

第十二條 土炭坑ハ土炭ノ收入ニ拘ハラズ其土地ノ性質位置ニ因リ
相當ノ耕作地草原又ハ牧畜地ニ評定スヘシ

第十三條 沼地ニ在テハ漁獵及ヒ其他ノ使用ノ收入ハ數年ノ通價ニ
因リ評定スヘシト雖モ保存培養水關堤防器具費ヲ合算スヘシ
漁獵ヲ耕作草苻ニ供スル土地ハ二様ニ評定シ總收入ノ通價ヲ以テ

特別ノ等級ヲ設クヘキヤ又耕作草原牧畜地ニ計入スヘキヤ否ヲ定
ムヘシ

第十四條 地稅規則第四條①②ノ土地ニ屬セサル航船堀割水車金銀
分析晒曝水落灌水等ニ用フル航行スヘカラサル堀割溝洫及ヒ河岸
私道石置場石坑礦坑墜道坑内ノ水溜等ハ其近接地ノ耕作方ニ評定
スヘシ

礦坑ノ用ニ供セサル坑ハ無益地ト爲スヘシ

第十五條 家屋ヲ有セサル建築地ハ近隣ノ土地ノ耕作方ニ評定スヘ
シト雖モ近隣ノ土地布達第二條①ノ種類ナルキハ其土地ノ位置性
質相當ノ耕作方ニ評定スヘシ

第十六條 現在ノ收入ヲ得ルニハ繼續シテ非常ノ費用ヲ要スヘキ土

地(第五條)ノ範圍小ナルハ其費用ヲ合シテ評定スヘシ場合ニ因
テハ下等ノ土地ニ算用スルコアリ

②附錄(第二十五條)

純益表

原 草		園 實 菓		地 作 耕	
益 純	級益純	益 純	級益純	益 純	級益純
六	一	五	一	七	一
九	二	十	二	三	二
二	三	三	三	四	三
十	四	四	四	五	四
五	五	五	五	六	五
八	六	六	六	七	六
十	七	七	七	八	七
二	八	八	八	九	八
五	九	九	九	十	九
十	十	十	十	十一	十
五	十一	十一	十一	十二	十一
十	十二	十二	十二	十三	十二
五	十三	十三	十三	十四	十三
十	十四	十四	十四	十五	十四
五	十五	十五	十五	十六	十五
十	十六	十六	十六	十七	十六
五	十七	十七	十七	十八	十七
十	十八	十八	十八	十九	十八
五	十九	十九	十九	二十	十九
十	二十	二十	二十	二十一	二十
五	二十一	二十一	二十一	二十二	二十一
十	二十二	二十二	二十二	二十三	二十二
五	二十三	二十三	二十三	二十四	二十三
十	二十四	二十四	二十四	二十五	二十四
五	二十五	二十五	二十五	二十六	二十五
十	二十六	二十六	二十六	二十七	二十六
五	二十七	二十七	二十七	二十八	二十七
十	二十八	二十八	二十八	二十九	二十八
五	二十九	二十九	二十九	三十	二十九
十	三十	三十	三十	三十一	三十
五	三十一	三十一	三十一	三十二	三十一
十	三十二	三十二	三十二	三十三	三十二
五	三十三	三十三	三十三	三十四	三十三
十	三十四	三十四	三十四	三十五	三十四
五	三十五	三十五	三十五	三十六	三十五
十	三十六	三十六	三十六	三十七	三十六
五	三十七	三十七	三十七	三十八	三十七
十	三十八	三十八	三十八	三十九	三十八
五	三十九	三十九	三十九	四十	三十九
十	四十	四十	四十	四十一	四十
五	四十一	四十一	四十一	四十二	四十一
十	四十二	四十二	四十二	四十三	四十二
五	四十三	四十三	四十三	四十四	四十三
十	四十四	四十四	四十四	四十五	四十四
五	四十五	四十五	四十五	四十六	四十五
十	四十六	四十六	四十六	四十七	四十六
五	四十七	四十七	四十七	四十八	四十七
十	四十八	四十八	四十八	四十九	四十八
五	四十九	四十九	四十九	五十	四十九
十	五十	五十	五十	五十一	五十
五	五十一	五十一	五十一	五十二	五十一
十	五十二	五十二	五十二	五十三	五十二
五	五十三	五十三	五十三	五十四	五十三
十	五十四	五十四	五十四	五十五	五十四
五	五十五	五十五	五十五	五十六	五十五
十	五十六	五十六	五十六	五十七	五十六
五	五十七	五十七	五十七	五十八	五十七
十	五十八	五十八	五十八	五十九	五十八
五	五十九	五十九	五十九	六十	五十九
十	六十	六十	六十	六十一	六十
五	六十一	六十一	六十一	六十二	六十一
十	六十二	六十二	六十二	六十三	六十二
五	六十三	六十三	六十三	六十四	六十三
十	六十四	六十四	六十四	六十五	六十四
五	六十五	六十五	六十五	六十六	六十五
十	六十六	六十六	六十六	六十七	六十六
五	六十七	六十七	六十七	六十八	六十七
十	六十八	六十八	六十八	六十九	六十八
五	六十九	六十九	六十九	七十	六十九
十	七十	七十	七十	七十一	七十
五	七十一	七十一	七十一	七十二	七十一
十	七十二	七十二	七十二	七十三	七十二
五	七十三	七十三	七十三	七十四	七十三
十	七十四	七十四	七十四	七十五	七十四
五	七十五	七十五	七十五	七十六	七十五
十	七十六	七十六	七十六	七十七	七十六
五	七十七	七十七	七十七	七十八	七十七
十	七十八	七十八	七十八	七十九	七十八
五	七十九	七十九	七十九	八十	七十九
十	八十	八十	八十	八十一	八十
五	八十一	八十一	八十一	八十二	八十一
十	八十二	八十二	八十二	八十三	八十二
五	八十三	八十三	八十三	八十四	八十三
十	八十四	八十四	八十四	八十五	八十四
五	八十五	八十五	八十五	八十六	八十五
十	八十六	八十六	八十六	八十七	八十六
五	八十七	八十七	八十七	八十八	八十七
十	八十八	八十八	八十八	八十九	八十八
五	八十九	八十九	八十九	九十	八十九
十	九十	九十	九十	九十一	九十
五	九十一	九十一	九十一	九十二	九十一
十	九十二	九十二	九十二	九十三	九十二
五	九十三	九十三	九十三	九十四	九十三
十	九十四	九十四	九十四	九十五	九十四
五	九十五	九十五	九十五	九十六	九十五
十	九十六	九十六	九十六	九十七	九十六
五	九十七	九十七	九十七	九十八	九十七
十	九十八	九十八	九十八	九十九	九十八
五	九十九	九十九	九十九	一百	九十九
十	一百	一百	一百	以上ハ一級毎トニ 三十シルベグロ 一センヲ増ス	
五	以上ハ一級毎ニ六十「シルベル グロ一セン」ヲ増ス				
十	以上ハ一級毎ニ三十「シルベル グロ一セン」ヲ増ス				

地 蕪 荒		池 沼		林 木 樹		地 畜 牧	
益 純	級益純	益 純	級益純	益 純	級益純	益 純	級益純
				一	一	一	一
				二	二	二	二
				三	三	三	三
				四	四	四	四
				五	五	五	五
				六	六	六	六
				七	七	七	七
				八	八	八	八
				九	九	九	九
				十	十	十	十
				十一	十一	十一	十一
				十二	十二	十二	十二
				十三	十三	十三	十三
				十四	十四	十四	十四
				十五	十五	十五	十五
				十六	十六	十六	十六
				十七	十七	十七	十七
				十八	十八	十八	十八
				十九	十九	十九	十九
				二十	二十	二十	二十
				二十一	二十一	二十一	二十一
				二十二	二十二	二十二	二十二
				二十三	二十三	二十三	二十三
				二十四	二十四	二十四	二十四
				二十五	二十五	二十五	二十五
				二十六	二十六	二十六	二十六
				二十七	二十七	二十七	二十七
				二十八	二十八	二十八	二十八
				二十九	二十九	二十九	二十九
				三十	三十	三十	三十
				三十一	三十一	三十一	三十一
				三十二	三十二	三十二	三十二
				三十三	三十三	三十三	三十三
				三十四	三十四	三十四	三十四
				三十五	三十五	三十五	三十五
				三十六	三十六	三十六	三十六
				三十七	三十七	三十七	三十七
				三十八	三十八	三十八	三十八
				三十九	三十九	三十九	三十九
				四十	四十	四十	四十
				四十一	四十一	四十一	四十一
				四十二	四十二	四十二	四十二
				四十三	四十三	四十三	四十三
				四十四	四十四	四十四	四十四
				四十五	四十五	四十五	四十五
				四十六	四十六	四十六	四十六
				四十七	四十七	四十七	四十七
				四十八	四十八	四十八	四十八
				四十九	四十九	四十九	四十九
				五十	五十	五十	五十
				五十一	五十一	五十一	五十一
				五十二	五十二	五十二	五十二
				五十三	五十三	五十三	五十三
				五十四	五十四	五十四	五十四
				五十五	五十五	五十五	五十五
				五十六	五十六	五十六	五十六
				五十七	五十七	五十七	五十七
				五十八	五十八	五十八	五十八
				五十九	五十九	五十九	五十九
				六十	六十	六十	六十
				六十一	六十一	六十一	六十一
				六十二	六十二	六十二	六十二
				六十三	六十三	六十三	六十三
				六十四	六十四	六十四	六十四
				六十五	六十五	六十五	六十五
				六十六	六十六	六十六	六十六
				六十七	六十七	六十七	六十七
				六十八	六十八	六十八	六十八
				六十九	六十九	六十九	六十九
				七十	七十	七十	七十
				七十一	七十一	七十一	七十一
				七十二	七十二	七十二	七十二
				七十三	七十三	七十三	七十三
				七十四	七十四	七十四	七十四
				七十五	七十五	七十五	七十五
				七十六	七十六	七十六	七十六
				七十七	七十七	七十七	七十七
				七十八	七十八	七十八	七十八
				七十九	七十九	七十九	七十九
				八十	八十	八十	八十
				八十一	八十一	八十一	八十一
				八十二	八十二	八十二	八十二
				八十三	八十三	八十三	八十三
				八十四	八十四	八十四	八十四
				八十五	八十五	八十五	八十五
				八十六	八十六	八十六	八十六
				八十七	八十七	八十七	八十七
				八十八	八十八	八十八	八十八
				八十九	八十九	八十九	八十九
				九十	九十	九十	九十
				九十一	九十一	九十一	九十一
				九十二	九十二	九十二	九十二
				九十三	九十三	九十三	九十三
				九十四	九十四	九十四	九十四
				九十五	九十五	九十五	九十五
				九十六	九十六	九十六	九十六
				九十七	九十七	九十七	九十七
				九十八	九十八	九十八	九十八
				九十九	九十九	九十九	九十九
				一百	一百	一百	一百
				以上ハ一級毎ニ二十五「シルベル グロ一セン」ヲ増ス			
				以上ハ一級毎ニ十「シルベル グロ一セン」ヲ増ス			

州郷ニ配賦スヘキ税額ヲ確定シ及ヒ東六州ニ於テ税額ヲ假リニ
配賦取立ル布告 千八百六十四年
十二月十二日
地稅規則
二百六十七

中央委員ニ於テ土地ノ評定ヲ確定シタル後大藏卿ノ具上ニ因リ千八百六十一年五月二十一日ノ地稅規則第七條ニ從テ左ノ條ヲ布告ス

第一條 地稅規則第三條ニ因リ各州郷ニ配賦シ千八百六十五年一月

一日ヨリ毎年千萬「ターレル」ノ總高ヲ政府出納局ニ完納スヘキ稅額ハ左ノ如ク確定セリ

一 普魯西州八百三十三萬四千二百二十二「シルベルグロ―セン」

二 「ポーゼン」州八十七萬六千三百六十七「ターレル」五「シルベルグ

ロ―セン」一「フエンニヒ」

三 「ボンメゼン」州八十一萬八千七百八十三「ターレル」二十八「シル

ベルグロ―セン」六「フエンニヒ」但「ノイボンメルシ」及「ヒ―リーゲ
ン」ノ郷ヲ除ク

四 「シユレエ―ジシ」州八百六十三萬四千九百「ターレル」八「シルベル
グロ―セン」七「フエンニヒ」但「ラーベルラウヂツ」郷所屬ノ地方ヲ

除ク

五 「ブランデンブルヒ」州八十九萬九千九百七十三「ターレル」六「シ
ルヘルグロ―セン」

十「フエンニヒ」但「ラーベルラウヂツ」及「ヒ―デルラウヂツ」郷
所屬地方ヲ除ク

六 「サクソン」州八百六十四萬二千五百四十四「ターレル」二「シルベルグロ
ロ―セン」七「フエンニヒ」

地稅規則

- 七「ノイボンメルシリ―ゲン」郷ハ二十萬六千八百二十八「ターレル」
- 一「シルベルグロ―セン」一「フエンニヒ」
- 八「ラーベルラウヂツ」郷ハ十萬四千二百十「ターレル」三「シルベルグ
ロ―セン」八「フエンニヒ」
- 九「ニーデルラウヂツ」郷ハ十一萬七百三十六「ターレル」二十二「シル
ベルグロ―セン」四「フエンニヒ」
- 十「ウエストハーレン」州ハ九十六萬千二百三十一「ターレル」六「シル
ベルグロ―セン」四「フエンニヒ」
- 十一「ライン」河州ハ百六十六萬四千八百七十二「ターレル」十一「シル
ベルグロ―セン」十一「フエンニヒ」

第二條 税額(第一條)ハ土地純益ノ調査ニ因リ各郡郡ニ於テハ村里

及ヒ租税取立區(第六條)ニ配賦スヘシ其配賦ハ各縣ニ於テ之ヲ公
告スヘシ

第三條 第一條第二條ニ因テ確定シタル事件ハ計算上ノ改正ニ非サ
レハ納税義務免稅宗教郡村里等ノ所屬ニ附キ誤謬ニ限り改正スル
コヲ得ルノミ

誤謬ヲ改正スルニハ則チ書替ノ手續(第二十條)ニ因ルヘシ

第四條 東六州ニ特別ノ地税法ヲ設ケタル郷ノ税額(第一條ノ一ヨ
リ九マテ)ヲ配賦取立ルニハ地税規則第八條ノ法律ヲ頒布スルマ
テ假リニ左ノ條々ニ從フヘシ

第五條 村里ハ第二條ニ因テ公告シタル税額ヲ千八百六十五年一月
一日ヨリハ納税者ヨリ取立毎月其月額ヲ出納局ニ引渡スヘシ

地税規則

第六條 千八百五十六年四月十四日ノ東六州未タ村里規則第一條ノ
二項ヲ施行セス現在ノ村里ノ所屬ニ非サル土地ハ縣廳ヨリ租稅取
立ノ爲メ近隣ノ村里ニ合併シ又ハ別ニ租稅取立區ヲ設クヘシ
租稅取立區所屬ノ土地ハ納稅義務ニ付キ村里ト同一ノ義務ヲ負擔
スヘシ(第五條)其義務ヲ盡スニ付キ納稅者ハ完納スヘキ稅高ノ責
メニ任スヘシ

第七條 關係スル村里ノ協議ヲ以テ租稅取立ノ爲メ其所屬地ヲ他ノ
村里ニ合併シ又ハ全村里ヲ互ニ合併スルコトヲ得
其協議ハ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 第六條第七條ノ命令及ヒ協議ハ現在ノ自治及ヒ權利ノ關係
ヲ變スルモノニ非ス

第九條 伯林郷ニ於テハ直接稅局ニテ地稅ヲ取立ツヘシ

第十條 各納稅者ニ地稅ヲ配賦スル爲メ村里及ヒ地稅取立區ニ於テ
田畑簿及ヒ地稅簿ヲ設クヘシ

田畑簿ニハ區内ノ土地及ヒ範圍純益ヲ記入スヘシ

地稅簿ニハ區内ノ土地範圍純益各所有者ニ配賦シタル稅高ヲ記入
スヘシ

第十一條 田畑簿地稅簿(第十條)ヲ作ルニハ一般ノ評定ニ因リ已ニ
調査シタルニ非サレハ區内各所有地ノ範圍純益ヲ調査確定スヘシ

純益ヲ確定スルニハ地稅規則ヲ施行シタル評定ノ結果ニ因ルヘシ

第十二條 各所有地ハ通常土地出入簿ノ記入ニ拘ハラス其所有者ノ
氏名ヲ田畑簿地稅簿ニ記入スヘシ但政府團結組合寄附ト又一己人

ノ所有ト否トニ拘ハラズ相續人數名又ハ數人共有スル土地ニ在テ
ハ相續人ナレハ相續人又ハ繼承人ノ氏名及ヒ相續人ト記シ數人ナ
レハ一人ノ氏名及ヒ共有者ト記スヘシ裁判中ノ土地ニ付テモ前項
ノ如ク記入スヘシト雖モ現在ノ所有者被告人ヲ記スヘシ
所有者ノ分明ナラサルカ又所有者ヨリ放棄シタル土地ハ其分明ナ
ルマテハ所有者分明ナラスト記スヘシ

第十三條 所有地ノ經界ニ付キ争ヒヲ生シ直ニ裁定スルコト能ハサル
ルハ其位置相當ノ經界ヲ定メ田畑簿地稅簿ニ記入スヘシ但之ニ因
テ所有者ノ權利ヲ害スルモノニ非ス
場合ニ因リ其經界ヲ定ムルコト能ハサルルハ一己ノ土地ト看做シ關
係者兩名以上ノ氏名ヲ記入スヘシ

第十四條 家屋稅ヲ納ムル土地家屋間ノ空地一「モルゲン」以下ノ庭
園(地稅規則第一條①)ハ其書類アルカ又ハ時間費用ヲ要セスシテ
之ヲ得ヘキルハ之レニ因テ其範圍ヲ定メ田畑簿租稅簿ニ記入スヘ
シ

其書類ヲ得ルコト能ハサルルハ一己ノ土地ト看做シ分割スヘカラサ
ル空地及ヒ庭園ト記スヘシ

第十五條 田畑簿租稅簿ヲ作ルニ付キ第十條ヨリ第十四條マテノ事
務ヲ指揮施行スルニハ大藏卿ヨリ別ニ規則ヲ發スヘシ

第十六條 田畑簿地稅簿ヲ作ル助力ヲ爲スヘキ官署銀行團結及ヒ一
己人ノ義務ハ地稅規則第六條ノ純益調査ニ係ル布達第十八條ヨリ
第二十條マテノ規則ニ從フヘシ

村里租稅取立區所屬ノ納稅者ハ其費用ヲ以テ區内ノ所有地及ヒ其所有者ノ明細書ヲ作り且實地ノ檢査ヲ爲ス官吏測量家ノ囑托ニ因リ其期日ニ相當ノ代理人ヲ出シ又地方ノ情況ニ熟達スル者ヲ官吏ニ添ヘ相當ノ辨明ヲ爲サシムヘシ

己ムヲ得サル場合ニ於テハ執行法ヲ以テ以上ノ義務ヲ盡サシムルコトアリ

第十七條 第十條ヨリ第十六條マテノ規則ヲ施行スルニ因テ生シタル費用ハ第十六條ノ義務ヲ除キ先ツ政府出納局ニテ立替フヘシ其費用取立法ハ地稅規則第八條ノ法律ヲ以テ定ムヘシ

第十八條 第十條ヨリ第十四條マテノ規則ニ因リ田畑簿地稅簿ニ記入シタル賦課法ニ從テ地稅ヲ取立ツヘシ

之ニ對シテハ先ツ故障ヲ申述ルコトヲ得ス故障ノ手續ハ他日地稅規則第八條ノ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但配賦ノ時(第十條ヨリ第十四條マテ)官署ニテ發見スルカ又ハ關係者ヨリ證明シタル誤謬ノ改正ハ何時タリトモ之ヲ爲スコトヲ得

第十九條 村里及ヒ租稅取立區ニ於テ千八百六十五年一月一日マテニ田畑簿地稅簿ヲ(第十條)落成スルコト能ハサルキハ所有者一名ニ屬スル利ヲ除キ先ツ他ノ方法ヲ以テ租稅ヲ配賦スヘシ

縣廳ハ村ノ議決及ヒ納稅者ノ協議ヲ酌量シテ配賦法ヲ定メ之レニ因テ假リニ租稅ヲ取立ツヘシ

田畑簿租稅簿落成後ハ假リノ配賦法ヲ廢スヘシ

千八百六十五年一月一日ヨリ以來假リニ納メタル稅高ト租稅簿ノ

税高トヲ對照シ其過不足ヲ平均センカ爲メ職權ヲ以テ之ヲ調査シ
縣廳ヨリ期限ヲ定メ其過分ハ完納期ノ滿タル税額ニ合算スヘシ但
納税者ノ協議ヲ以テ其權ヲ放棄シタルハ格別ナリ

第二十條 田畑簿地稅簿及ヒ圖面ヲ現狀ニ維持スル爲メ左ノ變更ヲ
記入スヘシ

①土地ノ所有權ニ變更アルハ

②舊來ノ免稅地(地稅規則第四條)ノ租稅ヲ納ムヘキ地ニ變スルハ

③舊來納稅地ノ免稅地ニ變スルハ(地稅規則第四條)

④舊來ノ納稅又地稅規則第四條ノ免稅地ニ建築スルカ又空地庭園

トシテ家屋ニ連續セシメタルハ

⑤舊來建築シタルカ又ハ空地庭園地納稅地又ハ地稅規則第四條ノ

免稅地ニ變シタルハ

⑥新タニ納稅地ト爲リタルハ

⑦舊來ノ免稅地ノ潰地ト爲リタルハ

⑧村里租稅取立區郡州第一條ノ郷ノ經界又國境ヲ變シタルハ

⑨第三條ノ誤謬ヲ申立之ヲ改正シタルハ

第二十一條 土地所有者又之レニ代リ地稅ヲ完納スヘキ者(第二十
六條)ハ書面又ハ言語ヲ以テ第二十條①ヨリ⑧マテノ變更ヲ主任

官吏ニ届出テ簿册ヲ改正スルニ必用ナル書類ヲ差出スヘシ差出サ
、ルハ本人ノ費用ヲ以テ之ヲ差出サシムヘシ

第二十條⑨ノ改正ハ縣廳ノ職權ヲ以テ爲スヘシ

村里長租稅取立區ノ取立人(第二十七條)ハ主任官吏ノ囑托ニ應シ

其辨明ヲ爲シ又ハ書類ヲ差出スヘシ

第二十二條 所有者ノ變更(第二十條①)ヲ届出サルキハ租稅簿ニ記入シタル所有者ニ於テ其改正ヲ爲シタル月マテノ地稅ヲ納ムヘシ但之レニ因テ新所有者ノ納稅義務ヲ免スルモノニ非ス

減稅免稅ノ事由(第二十條①②③)ヲ届出サルキハ其届出ヲ爲シタル月マテノ租稅ヲ取立ツヘシ

納稅增稅ノ事由ヲ(第二十條④⑤⑥)届出サルキハ其變更ヨリタル翌月一日ヨリ之ヲ取立ツヘシ

第二十三條 所有者ヲ變更シタル(第二十條①)土地ノ所有者ハ測量費ノ外ニ大藏卿ノ定メタル手数料ヲ拂フヘシ其高ハ「シルベルグロ―セン」以上「ターレル」以下タルヘシ且登記ヲ終リタル後地

稅ト共ニ之ヲ取立ツヘシ登記ニ係ル願書及ヒ調書ハ田畑簿等ノ拔萃ニ於ケル如ク印紙料ヲ取立ス

第二十四條 毎年ノ變更ニ因リ田畑簿地稅簿ヲ改正シ圖面ヲ増補スヘシ場合ニ因リ村里又租稅取立區(第六條)ノ稅額ヲ改正スルコアリ

第二十五條 地稅ハ毎月最初八日間ニ年額十二分ノ一ヲ完納スヘシ

第二十六條 地稅ハ地稅簿ヲ作ルマテハ現在所有者ヨリ落成後ハ之レニ記入シタル所有者ヨリ納ムヘシ

數人共有地ニ在テハ連帶シテ全額ヲ納ムヘキ義務アリ但租稅ヲ納メタルモノハ其他ノ共有者ヨリ其稅額ヲ取立ル權アリトス

借受又ハ使用スル土地ニ於テ政府ハ所有者又ハ借受人使用人ヨリ

租税ヲ取立ルコトヲ得

第二十七條 各團體ハ租税取立ノ爲メ地方官署ノ認可ヲ得テ取立人ヲ命シ又其備契約特ニ手當及ヒ保證金額ヲ定ムヘシ

縣廳ヨリ定メタル期限内ニ取立人ヲ命セサルハ縣廳ハ取立人ヲ命スルマテ團結ノ費用ヲ以テ之ヲ取立シムルコトヲ得

里ニ於テハ里長ヨリ租税ノ取立ヲ爲サシムヘシ

縣廳ハ取立ノ不十分ナル方法ヲ改正スヘシ第六條ノ租税取立區ニ於テハ縣廳ノ定メタル期限内ニ區内ノ納税者ニテ取立人ヲ撰舉スヘシ又納税者ハ取立人ノ手當及ヒ保證金額ヲ定ムヘシト雖モ手當料ハ區内ノ税額百分ノ三ヲ越ユヘカラス

取立人ヲ撰舉セサルハ郡長ヨリ之ヲ命シ其手當保證金額ヲ定ム

ヘシ

一郡内ニ於テ縣廳ノ許可ヲ得村里租税取立區二箇以上合併シテ取立人一名ヲ撰舉スルコトヲ得

第二十八條 「ノイボンメルニ」及ヒ「リニューケン」ノ郷及ヒ「ローベルラウヂツニ」デルラウヂツ「郷（第一條七八九）」ニ於ケル地稅ノ管理及ヒ取立ニ付キ其郷會ヨリ建議シテ之ヲ許可スヘシト認メタルハ別ニ規則ヲ發スルコトアリ

第二十九條 左ノ箇條ニ付テハ租税規則第八條ノ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

①各稅高ヲ取立ルコト能ハサルカ又ハ州郷ノ税額（第一條）ニ不足ヲ生シタルニ因リ州郷ニ於テ之ヲ擔當スヘキ方法

地稅規則

② 災厄ノ時如何ナル要件ヲ以テ免税シ又救助ヲ爲スヘキ方法

③ 後來村里ニ賦課シタル税額ノ過分ナルコトヲ發見スル等不十分ナル所ヲ改正スヘキ方法

第三十條 千八百四十年六月十八日ノ租税期滿得免規則及ヒ其説明改正ハ地税ニモ亦適用スヘシ但此布告ニ於テ別ニ定メタルモノハ格別ナリ

第三十一條 此布告ハ千八百六十五年一月一日ヨリ東六州内ニ効力ヲ有シ之ニ抵觸スル規則ハ廢止タルヘシ

第三十二條 大藏卿ハ此布告ヲ施行スヘシ之カ爲メ必用ナル布達ヲ發シテ特ニ田畑簿地税簿圖面ニ係ル測量手数料及ヒ簿册拔萃ヲ交付スル手数料ヲ定ムヘシ

東六州ニ於ケル地税ノ配賦取立及ヒ過分ノ税ヲ賦課シタル爲メノ故障規則 千八百六十七年二月八日

千八百六十一年五月二十一日ノ地税規則第三條ヲ増補シ及ヒ第八條ノ法律ヲ發センカ爲メ兩院ノ允許ヲ得テ左ノ條々ヲ制定ス

第一章 税額

第一條 千八百六十四年十二月十二日ノ布告第一條ニ因リ東六州及ヒ「ノイホールボンメルン」及ヒ「リューゲン」ノ郷「ヤーベルラウヂツ」及ヒ「ニーデルラウヂツ」郷ニ賦課シ同布告第二條第三條ニ因リ各郡及ヒ郡内ノ村里租税取立區ニ配賦シタル税額ハ左ノ場合ニ於テノミ増減スルコトヲ得

地税規則

⑤ 災厄ノ時如何ナル要件ヲ以テ免稅シ又救助ヲ爲スヘキ方法

⑥ 後來村里ニ賦課シタル稅額ノ過分ナルコトヲ發見スル等不十分ナル所ヲ改正スヘキ方法

第三十條 千八百四十年六月十八日ノ租稅期滿得免規則及ヒ其說明改正ハ地稅ニモ亦適用スヘシ但此布告ニ於テ別ニ定メタルモノハ格別ナリ

第三十一條 此布告ハ千八百六十五年一月一日ヨリ東六州内ニ効力ヲ有シ之ニ抵觸スル規則ハ廢止ダレヘシ

第三十二條 大藏卿ハ此布告ヲ施行スヘシ之カ爲メ必用ナル布達ヲ發シテ特ニ田畑簿地稅簿圖面ニ係ル測量手數料及ヒ簿册拔萃ヲ交付スル手數料ヲ定ムヘシ

東六州ニ於ケル地稅ノ配賦取立及ヒ過分ノ稅ヲ賦課シタル爲メノ故障規則 千八百六十七年二月八日

千八百六十一年五月二十一日ノ地稅規則第三條ヲ增補シ及ヒ第八條ノ法律ヲ發センカ爲メ兩院ノ允許ヲ得テ左ノ條々ヲ制定ス

第一章 稅額

第一條 千八百六十四年十二月十二日ノ布告第一條ニ因リ東六州及ヒ「ノイホールボンメルン」及ヒ「リユーゲン」ノ郷「ラーベルラウヂツ」及ヒ「ニールラウヂツ」ノ郷ニ賦課シ同布告第二條第三條ニ因リ各郡及ヒ郡内ノ村里租稅取立區ニ配賦シタル稅額ハ左ノ場合ニ於テノミ増減スルコトヲ得

地稅規則

①第三十二條ノ㊦ヨリ㊧マテノ所有及ヒ經界ノ變更アリタルハ

㊨第二十一條ヨリ第二十八條マテノ規則ニ因リ過税ノ理由アリト認メタルハ

㊩課税ノ誤謬ヲ證明シタルハ

第二條 課税ノ誤謬ハ特ニ左ノ不注意ヲ云フコナリ

一所屬ノ村里内ニ於テ課税セサルハ

二二回以上課税シタルハ

三全ク課税セサルハ

四假圖ヨリ田畑圖ニ評定ノ結果ヲ寫スニ當リ耕作法又ハ善惡ノ等級ニ誤リアルハ

五評定簿田畑區ノ土地全表田畑簿等ニ記入シタル耕作法又土地

善惡等級假圖ニ違ヒタル時

六土地ノ範圍ヲ計算スルニ當リ其總計ニ誤リアルカ又其他ノ誤謬アルハ

七納税地ニ課税セサルカ又免税地ニ課税シタルハ

課税ノ誤謬及ヒ所有經界ヲ改正スルニハ(第一條ノ①)何時タリ

トモ記入(第三十二條)ニ因テ爲スヘシ

第二章 地稅ノ配賦

一 地稅取立區

第三條 千八百五十六年四月十四日ノ東六州村里規則第一條第二項ヲ未タ施行セス且村里ニ屬セサル土地アルハ縣廳ヨリ租稅ヲ取立ル爲メ其地ヲ近隣ノ村里ニ合併シ又ハ別ニ地稅取立區ヲ設クヘ

地稅規則

第四條 租税ヲ取立ル爲メ關係アル村里ノ協議ヲ以テ其所屬地ヲ他ノ村里ニ合併セシメ又ハ村里ヲ合併シテ一區ヲ設クルコトヲ得其協議ハ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 第三條第四條ノ命令及ヒ協議ハ現在ノ自治又ハ權利ノ關係ヲ變スルモノニ非ス

二村里及ヒ地稅取立區ニ於ケル地稅ノ配賦

第六條 地稅ヲ納稅者ニ配賦スル爲メ村里及ヒ地稅取立區ニ於テ田畑簿及ヒ地稅簿ヲ設クヘシ田畑簿ニハ區内ノ土地其範圍收入ヲ記入スヘシ地稅簿ニハ區内ノ土地其範圍收入各所有者ノ稅額ヲ記入スヘシ

第七條 田畑簿地稅簿ヲ作ルニハ(第六條)一般ノ評定及ヒ千八百六十四年十二月十二日ノ布告ヲ施行スルニ因リ已ニ調査ヲ遂ケタル區内各所有地ノ範圍及ヒ收入ヲ調査及ヒ確定スヘシ
純益ヲ確定スルニハ千八百六十一年五月二十一日ノ地稅規則ヲ施行シタル評定ニ因ルヘシ

第八條 土地ハ通常土地出入簿ノ記入ニ拘ハラス所有者ノ氏名ヲ以テ田畑簿租稅簿ニ記入スヘシ但政府團結組合寄附等又ハ一己人ノ所有ナルト否トニ拘ハラス
相續人數人ニ屬スルカ又ハ數人共有スル土地ニ在テハ相續人ナレハ相續人又ハ繼寡人ノ氏名及ヒ相續人ト記シ共有ナレハ共有者一人ノ氏名及ヒ共有者ト記スヘシ

裁判中ノ土地ハ前項ノ規則ニ從フヘシト雖モ其所有者及ヒ被告人ヲ記入スヘシ

所有者ノ分明ナラサルカ又ハ所有者ニ於テ其權ヲ放棄シタル土地ハ其分明ナルマテ所有者分明ナラスト記スヘシ

第九條 土地ノ經界ニ付キ爭訟ヲ生シ直ニ之ヲ裁定スルコト能ハサルハ其位置ニ因リ相當ノ經界ヲ定メ田畑簿地稅簿ニ記入スヘシ但之レカ爲メ所有者ノ權利ヲ害スルモノニ非ス

場合ニ因リ其經界ヲ定ムルコト能ハサルハ一箇ノ土地ト看做シ關係者二名以上ノ共有トシテ田畑簿ニ記入スヘシ

第十條 家屋稅ヲ納ムル土地空地一「モルゲン」以下ノ庭園(地稅規則第一條①)ハ其書類又時間費用ヲ要セスシテ之レヲ得ヘキトハ之

レニ因テ其所有範圍ヲ確定シ田畑簿地稅簿ニ記入スヘシ
其所有ヲ得ルコト能ハサルハ一箇ノ土地ト看做シ分割スヘカラサル空地庭園ト記スヘシ

使用セラル、義務土地附着ノ義務

第十一條 使用權及ヒ土地附着ノ權ヲ有スルモノハ地稅ニ出金スヘキ義務ナシ

「サクソン」州内故「ウエストハーレン」所屬地ニ行ハル、土地附着ノ權利者ヨリ地稅ニ出金スヘキ義務ハ從前ノ通タルヘシ

三 地稅ノ配賦ニ對スル故障

第十二條 第六條ヨリ第十一條ノ規則ニ因リ地稅ヲ配賦シタル結果ニ對シテハ所有者ヨリ課稅ノ誤謬ヲ改正セシメ得ルノミナラス

(第二條及第三十二條ノ①)村及ヒ地稅取立區内所有者二名以上ニ屬スル里ニ於テハ左ノ場合ニ限リ故障ヲ申述フルコトヲ得

①土地ノ範圍正當ナラサルキ但課稅ノ誤謬アラサルキニ限ル(第二條)

②等級ノ評定相當ナラサルキ

第十三條 等級ノ評定正當ナラサルカ爲メ左ノ場合ニ於テ故障ヲ申述フルコトヲ得

①土地ノ耕作法正當ナラサルキ但評定ヲ爲シタル後ノ耕作法ヲ變セサルキニ限ル

②地稅規則ノ布達第三十九條二項ニ因リ近隣ノ土地ニ合併シタル土地ニ於テ①ノ事由アルキハ但近隣ノ土地故障申立人ノ所有ニ

非サルキニ限ル

③等級ノ評定正當ナラサルキ特ニ同布達第三十九條第三項五項ニ因リ近隣ノ土地ニ評定シ近隣ノ土地故障申立人ノ所有ニ非サル

キ

④同區内ニ於テ其評定ノ平等ナラサルキ

第十四條 第十二條ノ村里地稅取立區ニ於ケル故障ノ爲メ地稅簿ノ謄本ヲ作り之ヲ村里長及ヒ租稅取立人ニ交付シ其受領書ヲ取ルヘシ謄本ヲ受取りタルキハ直ニ之ヲ公告スヘシ又同時ニ左ノ箇條ヲ公告スヘシ

①公告シタルヨリ六週間内ニ區内一定ノ場所ニ於テ謄本ヲ檢閲シ又同期限内ニ郡長ニ故障ヲ申述フルコト

地稅規則

㊦實地検査ノ上故障ノ理由ナキハ故障申立人ニテ其費用ヲ擔當
シ又執行法ヲ以テ取立ツヘキコ

故障期限ノ經過シタル後ハ謄本ヲ檢閲ニ供シタル時間ノ證明書
ヲ謄本ヲ添ヘテ郡長ニ送付スヘシ

第十五條 地稅簿ノ謄本ヲ送付スルハ(第十四條)同時ニ第十二條
ノ區ニ於テ田畑簿地稅簿ノ原本及ヒ圖面ヲ縣廳ノ定メタル郡内ノ
地ニ於テ六週間之ヲ關係者ノ檢閲ニ供シ機關士ヲ立會ハシムヘシ
其檢閲ニ供スル期限ハ郡公告紙等ヲ以テ公告スヘシ

第十六條 第十四條①ノ期滿失權期限ヲ經過シタル後

一課稅ノ誤謬ヲ改正スヘキ申立(第二十九條)及ヒ土地ノ範圍正當
ナラサル故障(第十二條①)ニ評定ノ正當ナラサル故障(第十二條

㊦及ヒ第十三條)ニ付キ別ニ明細書ヲ作ルヘシ

課稅ノ誤謬ヲ改正スヘキ申立及ヒ一ノ故障ハ所屬書類ヲ添ヘテ縣
廳ニ差出シ上等測量家ノ意見ニ因テ之ヲ検査シタル上理アリト認
メタルハ之ヲ裁定シ理由ナキハ之ヲ却下スヘシ

土地ノ範圍ノ正當ナルヤ否ヲ判定スルニハ一般ノ評定ヲ爲スヘキ
規則ニ從フヘシ

縣廳ノ裁定ニ對シテハ更ニ上訴ヲ爲スコヲ得ス

第十七條 評定ニ對スル故障(第十六條二)ヲ審査裁定スル爲メ各郡
ニ故障委員ヲ設ケ其故障書ヲ差出スヘシ委員ハ縣廳ノ命シタル主
任者ヲ會長トシテ郡ノ大小及ヒ故障ノ高(第十二條㊦)ニ因リ二名
以上十名以下ノ委員ヨリ成ルヘシ其半數ハ郡會ニ於テ撰舉シ他ノ

半數ハ主任者ノ意見ヲ聞キ縣廳ヨリ命スヘシ

委員ノ故障ヲ代理スル爲メ郡會及ヒ縣廳ハ縣廳ヨリ定メタル員數ノ代理者ヲ撰舉命令スヘシ

樹木林ノ評定ニ係ル故障ヲ裁定スルニハ縣廳ヨリ山林ノ事ニ熟達スル者ヲ立會ハスヘシ

委員ノ議決ハ過半數ニ因リ可否同數ナルキハ會長ノ意見ニ從フヘシ

會長ハ委員ヲ召集シ議事ノ順序ヲ定ムヘシ

議決ヲ爲スニハ半數ノ出席ヲ要ス二名ヨリ成ルキハ兩名ノ出席ヲ要ス

第十八條 評定ニ對スル故障ヲ審査スル爲メ(第十二條)第十三條

第十六條)ニ各郡内ニ故障區ヲ設ケ各區委員二名ヲ派出セシメ登

記官吏又ハ機關士立會ノ上臨檢ノ意見書ヲ作ラシムヘシ立會人ハ

派出委員ニ相當ノ辨明ヲ爲スヘシ

派出委員ハ故障申立人及ヒ村里長地稅取立區ニ於テハ納稅者二名

ヲ立會ハシメ其辨明ヲ爲サシムヘシ

前項ニ掲ケタル者立會ハサルカ又ハ辨明ヲ肯ンセサルモ仍ホ實地

檢査ヲ爲スヘシ

派出委員ノ意見ニ因テ委員ニテ故障ヲ裁定スヘシ故障ノ理由ナシ

トシテ却下セサルキハ地稅ヲ減スヘキ高ニ付キ又故障申立人ノ所

有ニ非サルモ檢査ノ片發見シタル地稅ヲ増加スヘキ高ニ付キ裁定

ヲ爲スヘシ

其裁定ニ對シテハ更ニ上訴ヲ爲スコトヲ得ス但故障申立人及ヒ地稅ヲ增加シタル土地所有者ハ裁定書ヲ受取リタル後十日ノ期滿失權期限內ニ明白ナル不正誤謬ヲ委員ニ證明シ更ニ故障ヲ調査裁定セシムルヲ得

故障ノ理由ナシトシテ却下シタル片ハ縣廳ヨリ實地檢査費ヲ擔當スヘキヤ否ヲ定ムヘシ

第十九條 故障委員(第十八條)及ヒ縣廳(第十六條)ノ裁定ニ因リ圖面田畑簿及ヒ地稅簿ヲ改正スヘシ其改正ニ因テハ第二條第十二條ノ課稅誤謬ノ場合ヲ除キ村里及ヒ地稅取立簿ノ稅額ヲ變スルモノニ非ス村里地稅取立區ノ改正地稅簿ニ因リ改正シタル純益ニ準シテ第一條ノ稅額ヲ納稅者ニ賦課シ翌月一日ヨリ之ヲ取立ツヘシ

第二十條 土地義務解放ヲ終ラサル村又ハ地稅取立區ニ於テハ縣廳ノ見込ニ因リ土地義務解放官署ニ於テ權利義務ノ契約ヲ認可スルマテ田畑簿地稅簿(第六條ヨリ第十一條マテ)ヲ作ルコト及ヒ故障ニ因リ之ヲ改正スルコト(第十二條ヨリ第十九條マテ)ヲ延引セシムルコトヲ得其期日マテハ千八百六十四年十二月十二日ノ布告第十九條假賦課法ニ因リ調査シタル高二準シテ村地稅取立區ノ稅額ヲ配賦スヘシ

四過分ノ稅ニ對スル故障

第二十一條 村里及ヒ地稅取立區內ノ土地ノ評定正當ナラサルニ因リ其稅額ヲ減セシムルニハ村里及ヒ地稅取立區ニ賦課シタル稅額ヲ過分ナリトシ第二十四條ヨリ第二十八條マテノ規則ニ因テ之ヲ

證明スヘシ

三百

第二十二條 第二十一條ノ理由ニ因ル減税ノ申立ハ村里長地稅取立區ニ於テハ土地所有者數名(納稅者ヨリ納ムル地稅ノ高ニ因テ計算スヘシ)ヨリ此規則頒布後八週間ノ期限内ニ理由ヲ付シタル書面ヲ郡長ニ差出スニ非サレハ之ヲ受理スヘカラス

地稅取立區ニ於テハ減税ノ申立ヲ爲スト同時ニ區内ノ納稅者二名ヲ實地立會人トシテ其氏名ヲ申述フヘシ

村長ハ區内ノ土地所有者數名(地稅高ニ因テ計算スヘシ)ヨリ減税ノ申立ヲナサントシタル時之ヲ爲スヘキ義務アリ

第二十三條 過分ノ税ハ(第二十一條)村里及ヒ地稅取立區内ノ土地ヲ再三評定シ其等級ヲ確定(千八百六十一年五月二十一日ノ布達

第五十條)シタル後租稅簿ノ純益評定ノ純益百分ノ二十五ヲ越ユルニ非サレハ之ヲ認ム可カラス

第二十四條 郡長ハ期限内ニ申述ヘタル故障(第二十二條)ヲ第十七條ノ故障委員ニ送付スヘシ委員ハ先ツ検査ヲ爲シ特ニ郡區内同種ノ他ノ田畑ノ評定ト比較スヘシ過分ノ(第二十三條)理由ナシト認メタル時ハ故障申立人ニ通知後十四日内ニ故障ヲ願下クルヤ否ヲ述ヘ然ラサレハ第二十五條以下ノ規則ニ因リ其調査ヲ繼續シ故障ノ理由ナシトシタル時ハ其費用ヲ負擔スヘキヲ通知スヘシ

期限内ニ故障ヲ願下サル時ハ第二十八條以下ニ因リ調査ヲ爲スヘシ
第二十五條 故障ヲ調査スル爲メ故障委員ハ(第十七條)郡區内等級表附屬調書及ヒ其増補ニ因リ且土地評定規則ノ法式ニ從テ更ニ純

地稅規則

三百一

益ヲ調査スヘシ

三百一

第二十六條 評定ニ係ル(第二十五條)故障委員ノ議決ハ多數ニ因リ可否同數ナルハ會長ノ意見ニ從フヘシ

評定ノ時ハ故障申立人又第二十二條第二項ノ納稅者及ヒ樹木林ノ評定ナレハ山林ノ事ニ熟達スル者ヲ立會スヘシ

又縣廳ニ評定ヲ報告スヘシ縣廳ハ政府ノ費用ヲ以テ主任者ヲ立會ハシムルコトヲ得

第二十七條 評定及ヒ故障ノ結果ニ付キ故障委員ハ意見書ヲ作り評定ノ調書ヲ添ヘテ縣廳ニ差出スヘシ縣廳ハ評定ノ手續ヲ檢査シ不十分ナル所ヲ改正セシメ一切ノ書類ニ意見書ヲ添ヘテ大藏卿ニ差出シ大藏卿ハ其故障ヲ裁定スヘシ

大藏卿ニ於テ故障ノ理由ナシトシタルハ第二十五條第二十六條ノ手續ニ因テ生シタル費用ヲ故障申立人ニ擔當セシムヘシ

大藏卿ノ裁定ニ對シテハ更ニ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條 大藏卿ノ裁定(第二十七條故障ノ理由アリトシタルハ)ハ縣廳ニ送付シ調査シタル純益ニ應シテ田畑簿地稅簿及ヒ圖面ヲ改正セシメ調査ノ純益ニ因テ地稅簿ニ記入シタル土地ノ稅額ヲ配賦セシメ且該年一月一日ヨリ之ヲ取立セシムヘシ

以上規則(第二十一條ヨリ第二十八條マテ)ハ西ノ州ニ於ケルモ亦適用スヘシ

五 納稅者團結官署等ノ義務

第二十九條 官署銀行團結人民ニ於テ田畑簿租稅簿ヲ作り故障ヲ裁

地稅規則

三百二

定スル調査ノ助力ヲ爲スヘキ義務ニ付テハ千八百六十一年五月二十一日ノ地稅規則第六條ニ附錄シタル布達第十八條ヨリ第二十條マテノ純益調査ノ手續ヲ適用スヘシ

村里地稅取立區内ノ納稅者ハ其費用ヲ以テ村里地稅取立區所屬ノ土地及ヒ所有者ノ明細書ヲ作り實地ノ調査ヲ爲スヘキ官吏測量家ノ囑托ニ因リ其期日ニ相當ノ代理人ヲ出シ又地方ノ情況ニ熟達スル者ヲ官吏ニ添ヘテ相當ノ辨明ヲ爲サシメ又ハ書類ヲ差出サシムヘシ

以上ノ義務ハ己ムヲ得サル場合ニ於テ施行法ヲ以テ盡サシムヘシ

六 費用

第三十條 第十七條ノ會長及ヒ委員其附屬測量家機關士ハ日當又他

方ニ派出シタルトハ旅費ヲ受クヘシ其高ハ千八百六十一年五月二十一日ノ地稅規則ニ因リ純益調査費用ニ係ル千八百六十三年七月四日布告ニ因テ定ムヘシ

然レモ其高主任者ノ委員機關士ノ等級ニ應シ千八百四十八年六月十日ノ布告ニ定メタル高ヲ越ユルトハ其高ヲ給スヘシ

第三十一條 第六條ヨリ第二十八條マテ及ヒ第三十條ニ因リ各州郷(第一條)内ニ稅額ヲ配賦改正スルニ因テ生スル費用ハ先ツ政府出納局ニテ立替フヘシ故障申立人ニ於テ擔當スヘキ費用(第十八條第二十七條)第二十九條ニ因リ村里及ヒ地稅取立區内ノ納稅者ニ於テ擔當スヘキ義務ヲ除キ其州郷(第四十五條ヨリ第四十八條マテ)内ノ土地所有者ハ其稅額ノ高ニ因リ大藏卿ヨリ發スヘキ布達

ニ因リ十年内ニ漸次ニ之ヲ還納スヘシ

第三章 課税額ヲ現在ノ情况ニ適ハシムルコト

第三十二條 田畑簿租税簿及ヒ圖面ヲ現在ノ情况ニ適ハシメンカ爲

メ左ニ掲ケル變更ヲ記入スヘシ

①土地ノ所有ヲ變シタル時

②舊來ノ免税地(地稅規則第四條)ヲ納稅地ニ變スル時

③舊來ノ納稅地ヲ免税地ニ變スル時(地稅規則第四條)

④舊來ノ納稅地又地稅規則第四條ノ免税地ニ建築スルカ又明地庭

園トシテ家屋ニ附屬セシメタル時

⑤舊來建築シタルカ又明地庭園ヲ納稅地又ハ地稅規則第四條ノ免

稅地ニ建築スルカ又明地庭園トシテ家屋ニ附屬セシメタル時

⑥新タニ納稅地トナリタル時

⑦舊來納稅地ノ全部又ハ一部荒蕪地ト爲リタル時

⑧村里又ハ地稅取立區郡州郷ノ經界又國境ヲ變シタル時

⑨官署ニテ課稅ノ誤謬(第二條)ヲ發見スルカ又ハ關係者ヨリ之ヲ

證明シタル時

⑩第二十一條以下ノ規則ニ過分稅ノ故障ヲ述ヘ其理由アリタル

時

第三十三條 土地所有者又之ニ代テ地稅ヲ納ムヘキ者ハ(第四十五

條)文書又ハ言語ヲ以テ第三十二條①ヨリ⑩マテノ變更ヲ主任官

吏ニ届出且簿册等ノ改正ニ必用ナル書類ヲ差出スヘシ然ラサレハ

本人ノ費用ヲ以テ書類ヲ差出サシムヘシ

地稅規則

第三十二條 ㊦ヨリ㊧マテノ變更ハ如何ナル場合ニ於ケルモ㊨ヨ
ヨリ㊩マテノ變更ハ土地義務解放ノ爲メ起リタルモニ限り縣廳
ノ職權ヲ以テ之ヲ改正スヘシ

村里長及ヒ地稅取立人(第四十七條)ハ主任官吏ノ囑托ニ應シ相
當ノ辨明ヲ爲シ又書類ヲ差出スヘシ

第三十四條 所有者變更ヲ(第三十二條㊨)届出サルモハ租稅簿ニ記
入シタル所有者ヨリ届出ヲ爲シタル月マテノ地稅ヲ完納スヘシ但
之レニ因テ新所有者ノ義務ヲ免カル、モノニ非ス
減稅免稅ノ事由(第三十二條㊨㊩㊪)ヲ届出サルモハ又届出ヲ爲
シタル月マテノ地稅ヲ取立ツヘシ

納稅增稅ノ變更(第三十二條㊨㊩)ハ其翌月ヨリ三ヶ月内ニ所有

者ヨリ届出ツヘシ届出ヲ怠タリタル者ハ政府ノ損失ト爲リタル場
合ニ於テ二重ノ稅額ニ應スル罰金其他ノ場合ニ於テ十「シルベル
グロ」セシ以上五「ターレル」以下ノ罰金ニ處セラルヘシ
其審査裁定ハ裁判所ニ於テ爲スヘシ但犯人自カラ郡長郷長ノ定メ
タル期限内ニ罰金稅額及ヒ費用ヲ納メタルモハ格別ナリ

第三十五條 地稅簿ニ範圍純益ヲ記入シタル土地(第六條)ノ全部ニ
所有ノ變更アルモハ新所有者ヨリ舊來ノ稅額ヲ納ムヘシ
然レモ其土地ヲ分割シタルモハ舊來ノ稅額ヲ各部ノ範圍ニ因テ配
賦スヘシト雖モ關係者ノ申立又ハ職權ニ因テ縣廳ヨリ命シタルモ
ハ登記官吏ノ調査シタル純益ニ因ルヘシ關係者ノ申立アルモハ其
費用ヲ以テ鑑定人ヲ立會ハシメ實地ニ臨ミ登記官吏ニテ更ニ純益

ヲ調査スヘシ

三百十

舊來ノ團結ヲ離レ更ニ植民地ヲ作ルニ因テ生シタル變更ハ後來登記官吏ニ於テ之ヲ確定シ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ但租稅及ヒ其他ノ義務ヲ定ムルハ格別ナリ

又千八百四十五年一月三日ノ法律及ヒ千八百五十六年五月二十六日ノ法律ノ此規則ニ抵觸スルモノハ廢止タルヘシ

第三十六條 土地義務解放ニ因リ所有ヲ變更スレモ第三十二條ヨリ[㊦]マテノ變更ナキモハ舊來ノ地稅ヲ納メタル土地ニ於テ仍ホ其義務ヲ負擔スヘシ(第三十五條一項二項)但千八百五十年三月二日法律第九十六條千八百二十二年六月七日ノ法律第六十五條ハ之ヲ廢スヘシ

土地義務解放ニ因リ舊來ノ納稅地ト地稅規則第四條ノ[㊦]ノ免稅地ト交換シタルモハ其納稅地ハ免稅地ト爲スヘシ(第三十二條[㊦][㊧])
此規則發行ノ時未タ土地義務ノ解放ヲ終ラサルカ(第二十條)又ハ其後其手續ヲ始メタル村又ハ地稅取立區ニ於テハ同時ニ縣廳ノ許可ヲ得テ土地義務解放ノ爲メ調査シタル純益ニ因リ舊來納メタル稅額ヲ其土地ニ配賦スルヲ得

第三十七條 第三十六條ノ地稅ノ變更及ヒ之ヲ納ムヘキ期日ハ土地義務解放官署ト縣廳ト協議ノ上之ヲ定ムヘシ其他ハ千八百三十四年六月三十日ノ土地義務解放事務規則第十一條ニ從フヘシ

縣廳ハ其認可シタル權利義務契約書ニ因テ地稅ノ登記簿ヲ爲サシムヘシ

地稅規則

三百十一

第三十八條 所有ヲ變シタル土地ノ所有者(第三十二條①)ハ測量費ノ外ニ仍ホ大藏卿ノ定メタル手数料ヲ納ムヘシ其高ハ一「シルベ」ル「グロ―セン」以上ニ「ターレ」以下タルヘク且所有者ヨリ地稅ト共ニ之ヲ納ムヘシ

登記ニ係ル願書其他調書ニハ圖面田畑簿等ノ披萃ニ於ケルカ如ク印紙料ヲ取立テス

第三十九條 毎年ノ變更ニ因リ地稅簿及ヒ田畑簿ヲ改正シ圖面ヲ増補シ又場合ニ因テハ村里地稅取立區ノ稅額ヲ改正スヘシ

第四章 地稅ヲ取立ル

第四十條 村里ハ納稅者ヨリ第一條ノ稅額ヲ取立毎月内ニ其月額ヲ出納局ニ引渡スヘシ

第四十一條 伯林郷ニ於テハ直接稅局ニテ地稅ヲ取立ツヘシ

第四十二條 地稅取立區内ノ納稅者ハ村里ニ於ケル如ク(第四十條)地稅ヲ取立ツヘキ義務アリ其義務ヲ盡スニ付キ納稅者ノ納ムヘキ

稅額ノ責ニ任スヘシ

第四十三條 取立ルコト能ハサル地稅ノ損失ハ政府出納局ニテ擔當スヘシ

第四十四條 地稅ハ毎月ノ初八日内ニ年額ノ十二分ノ一ヲ納ムヘシ

第四十五條 地稅ハ地稅簿ニ記入シタル所有者ヨリ納ムヘシ

共有地ニ在テハ共有者連帶シテ地稅ヲ納ムヘキ義務アリ但地稅ヲ納メタル者ハ其他ノ者ヨリ之ヲ償ハシムヘシ

借用使用地ニ在テハ政府所有者又ハ借用使用人ヨリ地稅ヲ納メシ

地稅規則

ムルヲ得

三百十四

第四十六條 村ニ於テハ租稅取立人ヲ命シ其備入レ契約ヲ結ヒ特ニ手當保證金ノ高ヲ定ムヘシ

縣廳ノ定メタル期限内ニ取立人ヲ命セサルハ縣廳ハ之ヲ命スルマテ村費ヲ以テ之ヲ取立シムルヲ得

里ニ於テハ里長ヨリ地稅ヲ取立ツヘシ

縣廳ニ於テ不十分ナリト認メタルハ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第四十七條 第三條ノ地稅取立區ニ於テハ縣廳ノ定メタル期限内ニ區内ノ納稅者ヨリ租稅取立人ヲ撰擧シ手當及ヒ保證金高ヲ定ムヘシ期限内ニ撰擧セサルハ郡長ヨリ取立人ヲ命シ其手當保證金ノ高ヲ定ムヘシ

第四十八條 一郡内ニ於テ數箇ノ村里及ヒ地稅取立區合併シテ取立人一人ヲ撰擧スルコトヲ得但縣廳ノ許可ヲ受クヘシ

第四十九條 「ローベルラウヂツ」郷ニ於テハ郷會ト共ニ定メタル地稅取立管理規則ニ從フヘシ

平均

第五十條 千八百六十五年一月一日ヨリ第十九條マテノ期日マテニ完納シタル租稅ノ過不及ヲ平均スル爲メ縣廳ヨリ其調査ヲ爲サシメ一定ノ期限ヲ定メ滿期ノ稅額ヨリ其過分ヲ差引クヘシ但關係者間ニ協議ヲ遂ケタルハ格別ナリ

期滿得免

第五十一條 千八百四十年六月十八日ノ租稅期滿得免規則及ヒ其改

地稅規則

三百十五

正説明ハ地稅ニモ亦適用スヘシ但此規則ニ於テ別ニ定メタルモノ
ハ格別ナリ

第五章 免稅

第五十二條 天災ニ因リ損害ヲ被リタルカ爲メ(火難等)政府出納局
ニ對シ免稅又ハ還付ヲ求ムルコトヲ得ス

如何ナル場合及ヒ如何ナル高ノ免稅又ハ救助ヲ爲スヘキヤ否ハ州
會鄉會ニ於テ之ヲ決シ國王ノ允許ヲ受クヘシ

其資本ハ納稅者ヨリ豫シメ出金セシムヘシト雖モ其高ハ州會鄉會
ニテ定ムヘシ

第六章 損害賠償

第五十三條 千八百六十一年五月二十一日ノ免稅減稅ヲ廢スル損害

賠償規則第四條ニ因リ設クヘキ資本金ノ高及ヒ配賦又同規則第二
條第三條ノ價高ハ當時ノ損害賠償ヲ受クヘキ土地ノ稅額ニ因ルヘ
シ
損害ノ高ハ此規則第十三條ヨリ第三十條マテノ故障ニ因テ地稅ニ
變更アルモ之ヲ變スルコトヲ得ス

第七章 總則

第五十四條 東六州ニ於テ此規則ニ抵觸スルモノハ廢止スヘシ

第五十五條 大藏卿ハ此規則ヲ施行シ又布達ヲ發シテ田畑簿地稅簿
圖ヲ作ル測量手數料及ヒ簿冊ノ拔萃ヲ交付スル手數料ヲ定ムヘシ

家屋税規則千八百六十一年五月廿一日

第一條 本日ノ地稅規則第二條ニ掲ケタル家屋稅ハ同規則第一條ノ

地稅ト同日ヨリ取立ツヘシ

第二條 第一條ノ期日ヨリ左ニ掲ケル稅ヲ廢ス

一 東六州内ノ地方ニ於テ家屋稅ノ各義ヲ以テ取立タル地稅家屋稅

地稅ニ類スル租稅ノ政府出納局ニ納ムヘキ者

二 東六州内ノ郷又ハ郷内ノ一部及ヒ其所屬田畑ノ家屋ニ賦課シタ

ル地稅及ヒ其類似ノ租稅ノ政府出納局ニ納ムヘキ者

三千八百二十年五月三十日ノ租稅規則第六條ニ因リ郷ヨリ納ムヘ

キ租稅

四千八百五十五年八月一日ノ法律又舊來ノ契約ニ因リ郷ヨリ刑事

家屋稅規則

裁判費用ノ代リニ納ムヘキ年賦金

五舊來「エルフルト」郷出納局ヨリ納ムヘキ租稅現今其郷ヨリ納ムヘキ地稅ノ總高ナリ

六西二州ニ於テ家屋登記簿ノ收入ニ因リ家屋及ヒ其所屬ノ空地庭園ニ賦課シタル地稅(地稅規則第一條ヲ見ルヘシ)

第三條 左ニ掲クル家屋ハ家屋稅ヲ免ス

一皇族「ホーエンツォルレン」侯家所屬又政府所屬地内ノ家屋故獨逸直隸ノ侯伯所屬ハ千八百二十年五月三十日ノ規則第二十四條ノ範圍ニ因リ地稅ヲ免スヘシト雖モ契約ヲ以テ其權ヲ放棄シタル者ハ格別ナリ

二政府州郷郡村里所屬ノ家屋ニシテ公用ニ供スヘキ者特ニ官署ノ

用ニ供シ又ハ官宅例ヘハ軍事縣廳司法警察租稅郵便ノ官署郡村里ノ官署書籍庫博物館

三大學校其他教授ニ供スル家屋

四寺院其他禮拜ニ供スル家屋及ヒ宗旨組合ノ禮拜所(法律上人ト看做スヘキ權ヲ有スル組合ニ限ル)

五僧侶ノ官宅中學校師範學校小學校ノ教師ノ官宅

六貧窮院孤兒院病院懲治場監獄及ヒ慈善寄附所屬ノ家屋ニシテ慈善ノ用ニ供スル者

七人ノ住居セサル家屋ノ農業ノ用ニ供スル者例ヘハ耕作ノ用ニ供スル動物器具生産物等ヲ貯フル家屋製造場所屬ノ家屋ニシテ炭薪及ヒ生産物ヲ貯フル場所及ヒ營業ニ用フル動物ノ小舎

家屋稅規則

八水ヲ引キ水ヲ落ス仕掛ニ用フル人ノ住居セサル家屋

第四條 家屋稅ハ一年ノ使用價ニ因リ附錄ノ等級ニ評定シ賦課スヘシ

其使用價二級ノ間ニ該ルルハ其價ノ少ナキ級ニ評定スヘシ

第五條 地稅ハ毎年左ノ區別ニ從テ年額ヲ定ムヘシ

- 一 主トシテ住居ニ用ヒ其一部ヲ營業ノ用ニ供スル家屋(例ハ商店工業場等)劇場舞踏場浴湯場集會所等ハ其使用價百分ノ四
- 二 主トシテ營業ニ用フル家屋例ハ煉化石石灰麥酒燒酎ノ製造鍛冶水車風車蒸氣ノ車ニ用フル家屋又ハ農業製造ノ用ニ供セサル(第三條ノ七)穴藏土藏馬車小舍厩ノ獨立シタルモノハ其使用價百分ノ二

但以上ノ家屋ニ在テハ其所屬ノ器械ノ有無ニ拘ハラヌ家屋ノ使用價ニ因ルヘシ

第六條 郷及ヒ主トシテ家屋ヲ貸付クル郡ニ於テハ其家屋ニ所屬空地庭園ヲ合シ(地稅規則第一條)一年ノ中等ノ借家賃ニ因テ使用價(第四條)ヲ定ムヘシ其借家賃ハ十年以來郷郡ニテ貸付ケタル通價ニ因ルヘシ

第七條 其他ノ郡ニ於テ借家賃ノミヲ以テ使用價ヲ定ムルヲ能ハサルルルハ家屋ノ大小建築法及ヒ其所屬ノ空地庭園ノ大小性質ノ外ニ仍ホ所屬所有地及ヒ使用地ニ著目シテ使用價ヲ定ムヘシ通常左ノ區別ニ因テ評定スヘシ

一 住家ノ收入少ナクシテ費用又ハ勞力ヲ爲シテ活計ヲ立ツヘキ者

家屋稅規則

及ヒ卑賤ナル職工製造場職人等ノ住家ハ一級ヨリ六級マテニ評
定スヘシ

二獨立スル土地所屬ノ住家ニシテ毎年ノ純益凡ソ千「ターレル」ニ
滿タサルモノハ七級ヨリ二十二級マテニ評定スヘシ

三大ナル土地所屬ノ住家ニシテ其純益毎年凡ソ千「ターレル」以上
ナル者ハ十七級ヨリ三十七級マテニ評定スヘシ

住家ハ近隣ノ郷ニ於ケル住家ト其大小建築法ヲ同クスル者ヨリ
高キ級ニ評定スヘカラス

第八條 第七條ノ地方ニ於ケル家屋ヲ評定スルニハ仍ホ左ノ箇條ニ
從フヘシ

一全ク土地ノ收入ナキカ又ハ止タ僅少ナル收入アリ止タ一家族ノ

住居ニ供スルモノハ一級ニ評定スヘシ

二一所有地ニ數箇ノ住家アル其主トナル住家ハ所屬地ニ應シテ
等級ヲ定ムヘシ其他ノ住家例ヘハ借地人監守人山林監守人雇人
日雇ノ住家等ハ其大小及ヒ性質ニ因テ一級ヨリ六級マテニ評定
スヘシ之ヨリ上級ニ評定セントスルニハ所有地ノ耕作ニ供セサ
ルカ又ハ所有者ノ雇人ニ非サル者ニ貸付ケタルニ非サレハ借家
賃ニ因テ之ヲ定ムルヲ得ス

三別莊(夏日滞在スル所)ハ其所屬地ノ大小收入ニ拘ハラズ家屋ノ

大小建築法ニ因テ評定スヘシ

四住家ノ外ニ第五條一二ノ家屋稅ヲ納ムヘキ家屋及ヒ農業所屬ニ
非サル製造場所屬ノ住家ハ州會ノ意見ヲ聞キ各郡ト對照スヘキ

郷内ノ家屋ニシテ大小建築法ヲ同クスル者ノ所屬等級ニ評定スヘシ

五各州ニ於テハ州會ノ意見ヲ聞キ州内ノ情況ニ因リ所屬等級ニ評定スルル着目スヘキ家屋ノ要點ヲ集ムヘシ

第九條 家屋税ヲ賦課スルニハ縣廳ノ指揮ヲ受ケ評定區ニ於テ主任者ヲ會長ト爲シ委員ニテ爲スヘシ委員ノ員數ハ評定區ノ大小及ヒ郷ノ員數ニ因テ縣廳ヨリ定ムヘシ

委員ハ郡會ヨリ撰舉スヘシ獨立シテ評定區ヲ作ル郷ニ於テハ郷會ニテ撰舉スヘシ

郡會ヨリ撰舉スルニハ評定區内ノ郷ヲ代理セシムルコトニ注意スヘシ然レモ縣廳ハ郷會ヨリ委員一名ヲ出サシムルコトヲ得

第十條 委員ノ議決ハ過半数ニ因リ可否同數ナルモハ會長ノ意見ニ從フヘシ又會長ハ其議決ニ對シ縣廳ニ控訴ヲ爲スコトヲ得縣廳ハ更ニ委員ノ意見ヲ聞キ之レニ因テ裁定シ委員ハ其裁定ニ從フヘシ賦課ノ結果ハ賦課明細書ヲ家屋所有者ノ檢閱ニ供シ且其拔萃ヲ送付シテ通知スヘシ

拔萃ニハ賦課シタル家屋及ヒ其借家賃稅額ヲ格別ニ記入スヘシ賦課明細書ハ十四日以上檢閱ニ供スヘシ

賦課ニ對スル故障ハ拔萃ヲ受取リタル後四週間ノ期滿失權内ニ所屬評定區ノ主任者ニ申述フヘシ但豫メ關係者ニ其旨ヲ通知スヘシ

第十一條 故障ハ(第十條)評定委員ノ意見ヲ聞キ縣廳ニ於テ裁定スヘシ其裁定ニ對シテハ裁定書ヲ受取リタル後六週間ノ期滿失權期

限内ニ故障申立人ヨリ大藏卿ニ控訴ヲ爲スコヲ得
審問ニ因リ却下スヘキ故障ニ因テ生シタル費用ハ故障申立人ニテ
擔當スヘシ

第十二條 大藏卿ハ評定ノ事務ヲ總括シ主任者ヲ實地ニ派出シテ其
事務ヲ檢閲セシメ賦課ヲ平等ナラシムル爲メ必用ナル命令ヲ發シ
又賦課規則ニ抵觸スル者ヲ改正スル權アリ

第十三條 家屋税ノ賦課費ハ政府出納局ニテ擔當スヘシ然レモ其事
務ヲ準備シ特ニ明細書ヲ作ル費用ハ村里ニテ擔當スヘシ
官署團結及ヒ人民ハ主任者ノ求メニ因リ賦課ノ用ニ供スヘキ圖面
定價表其他ノ書類ヲ差出スヘシ
委員ハ住所外ノ事務ニ付キ千八百三十六年四月廿五日ノ費用規則

第三條ニ因リ旅費日當ヲ受クヘシ

第十四條 家屋税ハ地稅規則ニ因リ政府出納局ニ取立ツヘシ東州ノ
村里ハ納稅者ヨリ家屋税ヲ取立テ毎月中ニ月額ヲ出納局ニ引渡ス
ヘシ

租稅取立手數料トシテ取立タル稅額百分ノ三ヲ給シ之ヲ以テ一切
ノ雜費ニ充ツヘシ

第十五條 家屋稅簿ヲ現在ノ情況ニ適ハシムル爲メ左ニ掲クル變更
ヲ記入スヘシ

- 一 家屋ノ所有ヲ變シタル時
- 二 舊來ノ納稅家屋免稅家屋ニ變スルカ(此規則第三條)又舊來ノ免
稅家屋ヲ納稅家屋ニ變スル時

家屋稅規則

三家屋ノ使用ヲ變シ第五條第二ノ等級ヨリ第一ノ等級ニ轉シ又
第一ヨリ第二ニ轉シタルハ

四新築スルカ又ハ崩壞シタルハ

五納稅家屋ノ一部ヲ變スルハ則チ一階ヲ建繼又ハ毀壞シ又ハ一部
ヲ繼建又ハ毀壞シ所屬空地庭園ヲ廣大ニシ又ハ其全部一部ヲ分
割シタルハ但其變更ニ因テ使用價ヲ増減シタルハニ限ルヘシ

第十六條 家屋所有者又使用者文書又ハ言語ヲ以テ第十五條ノ變更
ヲ主任官吏ニ届出テ簿冊ノ改正ニ必用ナル書類ヲ差出スヘシ

第十七條 所有ノ變更ヲ届出サルハ(第二十五條一)家屋稅簿ニ記
入シタル所有者ヨリ届出ヲ爲シタル月マテノ家屋稅ヲ拂フヘシ但
之レニ因テ新所有者ノ義務ヲ免スルモノニ非ス

減稅免稅ノ事由ヲ届出サルハ(第十五條二ヨリ五マテ)又届出ヲ
爲シタル月マテノ家屋稅ヲ取立ツヘシ

新築シタル家屋(第十五條四)ノ改造及ヒ所有空地等ノ増加(第十
五條五)ハ家屋稅ヲ課スヘキ期日ノ(第十九條ノ一二)三ヶ月前ニ
又第五條第二ノ家屋ノ設置使用ヲ變シ第五條一ノ家屋ニ轉シタル
ハ翌年三月内ニ届出ヘシ届出ヲ怠リタル者ハ政府ニ損害アレハ
二重ノ稅額ニ應スル罰金其他八十「シルベルグロ―セン」以上五「タ
―レル」以下ノ罰金ニ處スヘシ

其審問裁定ハ裁判所ニ於テ爲スヘシ但郡長郷長ノ定メタル期限内
ニ犯人自カラ罰金稅額及ヒ費用ヲ納メタルハ格別ナリ

第十八條 所有ヲ變シタル家屋所有者ハ(第十五條一)大藏卿ノ定メ

タル手数料ヲ納ムヘシ其高ハ五「シルベルグロ―セン」ヲ越ユヘカ
ラス

第十九條 一新築シタル家屋ハ住居ノ用ニ供スヘキカ又ハ使用スヘ
ク爲シタル翌年ヨリ二年ヲ經テ家屋稅ヲ賦課スヘシ

二家屋ヲ改造シタルカ爲メ其稅ヲ増加スヘキハ(第十五條ノ五)
又翌年ヨリ二年ヲ經テ其増額ヲ賦課スヘシ

三火難洪水其他ノ天災ニ因テ崩壊シタルカ又所有者ヨリ取毀チタ
ル家屋ハ其月ノ一日ヨリ減稅スヘシ

四天災ニ因リ一年ノ收入ノ全部又ハ一部ヲ失ヒ一年ノ使用價三
分一以上ナルハ相當ノ減稅ヲ爲シ場合ニ因テハ全額ヲ免スヘ
シ

五全額ハ一年間家屋ヲ使用セサルコトヲ證明スルニ非サレハ免スヘ
カラス

第二十條 家屋稅ノ賦課ハ十五年毎ニ改正シ此規則ニ因テ之ヲ施行
スヘシ

第二十一條

一二十年以來地稅之ニ類スル租稅ノ義務ヲ解タル郷及ヒ郷内土地
所有者ニハ政府出納局ヨリ已ニ納メタル義務解放金額ヲ還付ス
ヘシ

二「エルフルト」郷ニ於テハ舊來其出納局ニ納メタル租稅(第二條
五)ニシテ千八百六十一年度ノ收入ト看做スヘキ者及ヒ舊來ノ
賦課法又ハ其部合ヲ變スルコトナク其租稅ヲ廢止スルマテノ増額

家屋稅規則

ハ政府出納局ノ求メニ因リ其稅額二十倍ノ正金ヲ以テ其義務ヲ解放スヘキ年賦金トシテ之ヲ納ムヘシ

三千八百二十年五月三十日ノ租稅規則第六條ニ因リ郷ヨリ政府出

納局ニ納ムヘキ稅額ヲ地稅トシテ郷内ノ土地ニ賦課シタルハ

特別ノ契約ニ係ル免稅ノ家屋所有者ニ其償トシテ政府出納局ヨ

リ估計シタル一年ノ家屋稅額ニ應スル二十倍ノ償金ヲ拂フヘシ

但家屋稅(第四條)其估計高ヨリ少ナキハ其少ナキ家屋稅二十

倍ノ償金ヲ以テ政府出納局ヨリ償フヘシ

四又其他ノ地方ニ於テモ特別ノ契約ニ係ル家屋稅地稅ノ免稅ヲ償

フヘシ

第二十二條 千八百四十年六月十八日ノ租稅期滿得免規則及ヒ其改

正說明ハ家屋稅ニモ亦適用スヘシ但此規則ニ於テ別ニ定メタルモ
ノハ格別ナリ

第二十三條 大藏卿ハ此規則ヲ施行シ又必用ナル布達ヲ發スヘシ

家屋稅ノ賦課表(第四條)

家屋一年ノ使 用價	稅ノ等級	高稅ノ年一		家屋一年ノ使 用價	稅ノ等級
		第五條一	第五條二		
レ五十七百二	四	二	三	ルレ六八	一
百三	五	四	四	六八	二
百三	六	六	五	二五	三
百三	七	八	六	二五	四
百三	八	九	七	二五	五
百四	九	一	八	二五	六
百四	一〇	二	九	二五	七
百五	一一	三	一〇	二五	八
百五	一二	四	一一	二五	九
百六	一三	五	一二	二五	一〇
百六	一四	六	一三	二五	一一
百七	一五	七	一四	二五	一二
百七	一六	八	一五	二五	一三
百八	一七	九	一六	二五	一四
百八	一八	一〇	一七	二五	一五
百九	一九	一一	一八	二五	一六
百九	二〇	一二	一九	二五	一七
千	二一	一三	二〇	二五	一八
千	二二	一四	二一	二五	一九
千	二三	一五	二二	二五	二〇
千	二四	一六	二三	二五	二一
千	二五	一七	二四	二五	二二
千	二六	一八	二五	二五	二三
千	二七	一九	二六	二五	二四
千	二八	二〇	二七	二五	二五
千	二九	二一	二八	二五	二六
千	三〇	二二	二九	二五	二七
千	三一	二三	三〇	二五	二八
千	三二	二四	三一	二五	二九
千	三三	二五	三二	二五	三〇
千	三四	二六	三三	二五	三一
千	三五	二七	三四	二五	三二
千	三六	二八	三五	二五	三三
千	三七	二九	三六	二五	三四
千	三八	三〇	三七	二五	三五
千	三九	三一	三八	二五	三六
千	四〇	三二	三九	二五	三七
千	四一	三三	四〇	二五	三八
千	四二	三四	四一	二五	三九
千	四三	三五	四二	二五	四〇
千	四四	三六	四三	二五	四一
千	四五	三七	四四	二五	四二
千	四六	三八	四五	二五	四三
千	四七	三九	四六	二五	四四
千	四八	四〇	四七	二五	四五
千	四九	四一	四八	二五	四六
千	五〇	四二	四九	二五	四七
千	五一	四三	五〇	二五	四八
千	五二	四四	五一	二五	四九
千	五三	四五	五二	二五	五〇
千	五四	四六	五三	二五	五一
千	五五	四七	五四	二五	五二
千	五六	四八	五五	二五	五三
千	五七	四九	五六	二五	五四
千	五八	五〇	五七	二五	五五
千	五九	五一	五八	二五	五六
千	六〇	五二	五九	二五	五七
千	六一	五三	六〇	二五	五八
千	六二	五四	六一	二五	五九
千	六三	五五	六二	二五	六〇
千	六四	五六	六三	二五	六一
千	六五	五七	六四	二五	六二
千	六六	五八	六五	二五	六三
千	六七	五九	六六	二五	六四
千	六八	六〇	六七	二五	六五
千	六九	六一	六八	二五	六六
千	七〇	六二	六九	二五	六七
千	七一	六三	七〇	二五	六八
千	七二	六四	七一	二五	六九
千	七三	六五	七二	二五	七〇
千	七四	六六	七三	二五	七一
千	七五	六七	七四	二五	七二
千	七六	六八	七五	二五	七三
千	七七	六九	七六	二五	七四
千	七八	七〇	七七	二五	七五
千	七九	七一	七八	二五	七六
千	八〇	七二	七九	二五	七七
千	八一	七三	八〇	二五	七八
千	八二	七四	八一	二五	七九
千	八三	七五	八二	二五	八〇
千	八四	七六	八三	二五	八一
千	八五	七七	八四	二五	八二
千	八六	七八	八五	二五	八三
千	八七	七九	八六	二五	八四
千	八八	八〇	八七	二五	八五
千	八九	八一	八八	二五	八六
千	九〇	八二	八九	二五	八七
千	九一	八三	九〇	二五	八八
千	九二	八四	九一	二五	八九
千	九三	八五	九二	二五	九〇
千	九四	八六	九三	二五	九一
千	九五	八七	九四	二五	九二
千	九六	八八	九五	二五	九三
千	九七	八九	九六	二五	九四
千	九八	九〇	九七	二五	九五
千	九九	九一	九八	二五	九六
千	一〇〇	九二	九九	二五	九七
千	一〇一	九三	一〇〇	二五	九八
千	一〇二	九四	一〇一	二五	九九
千	一〇三	九五	一〇二	二五	一〇〇
千	一〇四	九六	一〇三	二五	一〇一
千	一〇五	九七	一〇四	二五	一〇二
千	一〇六	九八	一〇五	二五	一〇三
千	一〇七	九九	一〇六	二五	一〇四
千	一〇八	一〇〇	一〇七	二五	一〇五
千	一〇九	一〇一	一〇八	二五	一〇六
千	一〇	一〇二	一〇九	二五	一〇七
千	一一	一〇三	一〇	二五	一〇八
千	一二	一〇四	一一	二五	一〇九
千	一三	一〇五	一二	二五	一〇
千	一四	一〇六	一三	二五	一一
千	一五	一〇七	一四	二五	一二
千	一六	一〇八	一五	二五	一三
千	一七	一〇九	一六	二五	一四
千	一八	一〇	一七	二五	一五
千	一九	一一	一八	二五	一六
千	二〇	一二	一九	二五	一七
千	二一	一三	二〇	二五	一八
千	二二	一四	二一	二五	一九
千	二三	一五	二二	二五	二〇
千	二四	一六	二三	二五	二一
千	二五	一七	二四	二五	二二
千	二六	一八	二五	二五	二三
千	二七	一九	二六	二五	二四
千	二八	二〇	二七	二五	二五
千	二九	二一	二八	二五	二六
千	三〇	二二	二九	二五	二七
千	三一	二三	三〇	二五	二八
千	三二	二四	三一	二五	二九
千	三三	二五	三二	二五	三〇
千	三四	二六	三三	二五	三一
千	三五	二七	三四	二五	三二
千	三六	二八	三五	二五	三三
千	三七	二九	三六	二五	三四
千	三八	三〇	三七	二五	三五
千	三九	三一	三八	二五	三六
千	四〇	三二	三九	二五	三七
千	四一	三三	四〇	二五	三八
千	四二	三四	四一	二五	三九
千	四三	三五	四二	二五	四〇
千	四四	三六	四三	二五	四一
千	四五	三七	四四	二五	四二
千	四六	三八	四五	二五	四三
千	四七	三九	四六	二五	四四
千	四八	四〇	四七	二五	四五
千	四九	四一	四八	二五	四六
千	五〇	四二	四九	二五	四七
千	五一	四三	五〇	二五	四八
千	五二	四四	五一	二五	四九
千	五三	四五	五二	二五	五〇
千	五四	四六	五三	二五	五一
千	五五	四七	五四	二五	五二
千	五六	四八	五五	二五	五三
千	五七	四九	五六	二五	五四
千	五八	五〇	五七	二五	五五
千	五九	五一	五八	二五	五六
千	六〇	五二	五九	二五	五七
千	六一	五三	六〇	二五	五八
千	六二	五四	六一	二五	五九
千	六三	五五	六二	二五	六〇
千	六四	五六	六三	二五	六一
千	六五	五七	六四	二五	六二
千	六六	五八	六五	二五	六三
千	六七	五九	六六	二五	六四
千	六八	六〇	六七	二五	六五
千	六九	六一	六八	二五	六六
千	七〇	六二	六九	二五	六七
千	七一	六三	七〇	二五	六八
千	七二	六四	七一	二五	六九
千	七三	六五	七二	二五	七〇
千	七四	六六	七三	二五	七一
千	七五	六七	七四	二五	七二
千	七六	六八	七五	二五	七三
千	七七	六九	七六	二五	七四
千	七八	七〇	七七	二五	七五
千	七九	七一	七八	二五	七六
千	八〇	七二	七九	二五	七七
千	八一	七三	八〇	二五	七八
千	八二	七四	八一	二五	七九
千	八三	七五	八二	二五	八〇
千	八四	七六	八三	二五	八一
千	八五	七七	八四	二五	八二
千	八六	七八	八五	二五	八三
千	八七	七九	八六	二五	八四
千	八八	八〇	八七	二五	八五
千	八九	八一	八八	二五	八六
千	九〇	八二	八九	二五	八七
千	九一	八三	九〇	二五	八八
千	九二	八四	九一	二五	八九
千	九三	八五	九二	二五	九〇
千	九四	八六	九三	二五	九一
千	九五	八七	九四	二五	九二
千	九六	八八	九五	二五	九三
千	九七	八九	九六	二五	九四
千	九八	九〇	九七	二五	九五
千	九九	九一	九八	二五	九六
千	一〇〇	九二	九九	二五	九七

家屋稅規則

三百三十五

高税ノ年一	
第五條一	十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
第五條二	二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十

家屋税賦課法 千八百七十八年二月十一日大藏卿布達

①家屋税ノ賦課ニ係ル法律

第一條 家屋税ハ家屋税規則ニ因テ賦課スヘシ

②家屋税ヲ賦課スヘキ物件

第二條 家屋税ハ家屋(第二條第四條)其所屬空地(第五條第六條)及
 ヒ庭園(第七條第八條)ニ賦課スヘシ但庭園ハ其範圍二十五「アール」
 ン「五十三」メートル四方(普國「モルゲン」ニ同シ)以下タルヘシ之

ヨリ以上ナルモハ其全面ニ地税ヲ課スヘシ

第三條 法律ニ所謂家屋トハ其使用價ノ高ニ拘ハラヌ永久ノ目的ノ
 爲メニ建築シ且其性質ニ因リ永久ノ使用價ヲ有シ得ル建築物ヲ云
 フナリ但現ニ永久使用セサルモ亦同シ

第四條 其性質ニ因リ一般家屋ノ意義ニ適ハサルカ又主トシテ臨時
 ノ目的ニ用フヘキ建築物例ヘハ材料ヲ貯ヘ又ハ勞力者ノ雨蔽ト爲
 ルヘキ小舎及ヒ煉化石竈一定ノ時期ニ設クル店等ハ家屋税ヲ賦課
 スヘキ家屋ト看做スヘカラス

特ニ左ニ掲クル者ハ以上ノ部類ト同視スヘシ

一 鐵道監守人及ヒ關門番人ノ小ナル小舎ハ木石ノ壁ヲ有シ煉化石
 ノ家根ヲ葺キ煖爐ヲ設ケ柱石アルモ住居ノ用ニ供セスシテ止タ

家屋税賦課法

風雨ヲ凌クヘキモノニシテ番兵廠ノ如シ(鐵道監守者小舎關門
番人小舎ニシテ以上ノ要件ニ適セサル者ニハ家屋稅ヲ賦課スヘ
シ第二十四條一ヲ見合スヘシ)

二庭園ニ用フル器具ヲ保存スル小ナル小舎等(第十七條七及ヒ第
二十三條四ヲ見合スヘシ)

三柱石ヲ備ヘタル止タ埴土ヲ以テ建築シ屋根ヲ葺カサル小ナル
麵麩竈(第十七條三ヲ見合スヘシ)

四鹽坑所屬ノ精製場ニシテ材木ヲ以テ建築シ屋根壁ヲ備ヘス其間
ニ本枝ヲ滿テタル者

五屋根ナキ石炭竈兩側ニ壁ヲ設ケ火氣ヲ流通セシメ其間ニ石炭ヲ
入レテ燒ク者及ヒ屋根ナキ石灰竈^{ギブス}竈屋根ナキ鍛冶場鋪

付竈

六煉化石ヲ乾カス小舎ニシテ四方ニ壁ヲ設ケス屋根ヲ葺キ杭ノ上
ニ設ケタルモノ但數箇連續シテ設ケタル^トモ亦同シ(壁又ハ木
ノ欄干ヲ設ケ杭ノ間ノ餘地ヲ鎖スヘク建築シタル小舎ハ其錠ノ
附着スルト否トニ拘ハラズ之ヲ家屋ト看做シ家屋稅ヲ賦課スヘ
シ)

七露ハレタル瓦斯釜(瓦斯釜ヲ入ル、建築物ハ家屋ニシテ家屋稅
ヲ賦課スヘシ)

第五條 材木積置場物揚場等ハ家屋間ノ空地ト看做ス^トヲ得ヘク永
久家屋ノ用ニ供セン爲メ連續セシメタル者ニ非サレハ家屋稅ヲ賦
課スヘカラス是等ノ場所ヲ家屋間ノ空地ト看做スヘキ^トノ使用價

ハ家屋税ヲ賦課スルハ其使用價ニ合算スヘシ(第三十條第四十三條ニテ見合スヘシ)

然レモ以上ノ場所ニ看守人又ハ帳場掛等ノ住居又ハ滞在ノ用ニ供スヘキ小ナル家屋ヲ設ケタルハ其場所ヲ家屋ノ空地ト看做スヘカラサルヲ以テ地税ヲ賦課スヘシ

第四條ニ掲ケタル法律ニ於テ家屋ト看做スヘカラサル仕掛アル土地ハ其仕掛家屋間ノ空地又ハ庭園内ニ在テ家屋ノ附屬物トシテ家屋税ヲ賦課スヘキハ非サレハ家屋税ヲ賦課スヘカラス然ラサレハ其地ニハ止タ地税ヲ賦課スヘシ

第六條 停車場所屬地ハ通行又ハ運送ノ爲メニ用フルニ非サレハ家屋間ノ空地ト看做スヘカラス

停車場附屬ノ庭園ニシテ二十五メートル以上三メートル四方(普國一「モルゲン」ニ同シ)以上ノ範圍ヲ有スルモノ及ヒ通行運送ノ用ニ供セサル土地ハ停車場ノ柵内ニ在ルモ亦地税ヲ賦課スヘシ

第七條 庭園トハ(第二條)家屋ト同一ノ牆壁内ニ存スルト又家屋又ハ其空地ニ近接スルト否トニ拘ハラズ家屋ノ附屬地トシテ其使用價ヲ定ムルニ當リ合算スヘキ者ヲ謂フヘシ家屋附屬トハ家屋庭園同一ノ所有者ニ屬スルニ非サレハ附屬ト看做スヘカラス土地登記簿ノ同葉ニ於テ家屋ト共ニ記入セサル庭園ヲ附屬地ト看做スヘキハ家屋明細書等ニ其庭園ヲ記入シタル所ヲ附記スヘシ牆壁又ハ其他實地ノ現狀ニ因リ庭園ト看做スヘキヤ否ニ疑アルハ其使用

ヲ以テ庭園タルコトヲ知ラシムヘシト雖モ家屋ニ近接スル同所有者ノ耕作地草原等ヨリ區別センカ爲メ現ニナキ經界又ハ耕作法ヲ設クヘカラス

第八條 數箇ノ庭園一家屋ニ附屬スルハ其全面二十五「アールン」五十三「メートル」四方(普國一「モルゲン」ニ同シ)以下ナルハト雖モ止タ其一ヲ以テ家屋稅ヲ賦課スヘキ庭園ト看做シ家屋ノ使用價ヲ計算スルニ當リ之ヲ合算スヘシ
此場合ニ於テ一箇ヲ撰定スルニハ必ス家屋又ハ其空地ニ近接スル庭園ヲ定ムヘシ二箇以上ノ庭園家屋又ハ其空地ニ近接スルカ又家屋ヨリ隔タルハ地方ノ情況ニ因テ其一ヲ撰定スヘシ

⊙家屋稅ヲ免スヘキ家屋

第九條 左ニ掲クル家屋ハ家屋稅ヲ免スヘシ

- 一 皇族又ハ「ホーエンツオルレン」侯家所屬ノ家屋ハ其性質及ヒ郷郡内ニ在ルト否トヲ問ハス其附屬空地ハ其範圍ニ掲ハラヌ及ヒ二十五「アールン」五十三「メートル」四方(普國一「モルゲン」ニ同シ)以下ノ庭園
- 二 故獨逸直隸ノ侯伯所屬ノ家屋ハ千八百二十年五月三十日ノ規則

第二十四條ノ制限ヲ以テ免稅スヘシト雖モ契約ヲ以テ其權ヲ放棄シタル者ハ格別ナリ

三 故「ハノーフル」王國內ノ家屋ニシテ當時王家所屬ノ千八百六十七年ニ至ルマテ其國ノ家屋稅ヲ免シタル者

四 故「ヘッセヌ」侯國內ノ家屋ニシテ當時皇家所屬ノ千八百六十七

年ニ至ルマテ其國ノ地稅ヲ免シタル者

五故「ナツサウ」侯國內ノ家屋ニシテ當時侯家所屬ノ千八百六十七年ニ至ルマテ其國ノ家屋稅ヲ免シタル者

第十條 又帝國各連邦所有地ニ在ル家屋特ニ政府所有田畑礦山分析所鹽坑等ニ附屬スル家屋普國航船通商組合所屬ノ家屋等ハ家屋稅ヲ免スヘシ帝國各連邦ノ所有地ニ於テ一箇人ノ建築シタル家屋ハ其所屬ナレハ帝國各連邦所屬ノ家屋ニ於ケル如ク免稅ヲ求ムルヲ得ス必ス家屋稅ヲ賦課スヘシ則チ政府田畑ノ借地人等ノ其田畑ニ建築シタル家屋ハ本人ノ所有ナルルノ類(第三十四條ニテ見合スヘシ)

第十一條 又左ニ掲クル家屋ハ家屋稅ヲ免スヘシ

帝國各連邦州郷郡村里所屬ノ公用ニ供スヘキ家屋特ニ官署ノ用ニ供スル家屋又ハ官宅則軍事縣廳司法警察租稅郵便ノ官署郡村ノ官署及ヒ書籍庫博物館

以上ノ家屋ハ帝國各連邦ノ所有ナレハ免稅スヘキハ勿論(第十條獨逸銀行及ヒ其差金會社ノ建築物ハ帝國ノ所有ニ非ス因テ家屋稅ヲ納ムヘシ)ナレトモ其他ノ物ハ①所有者ノ性質②其使用ノ目的ニ因テ免稅スヘキヤ否ヲ定ムヘクニ箇ノ要件ニ適スレハ必ス免稅スヘシ但所有者(州郷郡等)自カラ公用ニ供スルモ又其家屋ノ全部又ハ一部ヲ官署例ヘハ司法官署ニ貸付ケ又ハ無料ニテ公用ニ供セシムルモ更ニ免稅ニ關係ナシ

茲ヲ以テ例ヘハ村ヨリ軍人騎馬等ヲ人ル、爲メ軍事官署ニ貸付ケ

タル家屋(屯所、厩等)モ亦免稅スヘシ

免稅スヘキ家屋ハ其他仍ホ①主トシテ②永久公用ニ供スヘシ

免稅スヘキ家屋ノ一部ヲ他ノ用ニ供スルモ更ニ關係ナシ例ヘハ府廳等ノ一部ヲ店舗トシテ貸付クル等必ス其主トナル目的ニ因テ全ク免稅スルカ又ハ全ク家屋稅ヲ納メシムヘシ一部ニ家屋稅ヲ課スヘカラス然レモ左ニ掲クル家屋ハ①②ノ要件ニ適セサルヲ以テ家屋稅ヲ納ムヘシ

一州郷郡村所屬ノ家屋ニシテ人民ニ貸付クルカ又自カラ役所ヲ借受クヘキ官吏ニ貸付ケタル者

二郷所屬ノ瓦斯製造場及ヒ其他團結所屬ノ營業ノ用ニ供スル家屋等(千八百六十八年五月十八日ノ法律ニ因リ設立シタル團結ノ

公立屠牛場ハ家屋稅ヲ免スヘシ)

三土地抵當銀行等ノ會社所屬ノ家屋

四商人組合等ノ所屬ノ家屋例ヘハ株式取引所商品貯蓄所集會所

第十二條 又地稅ヲ免スヘキ家屋ハ左ノ如シ

一大學校其他公ケノ教授ニ供スヘキ家屋

二寺院其他禮拜ノ用ニ供スヘキ家屋及ヒ法律上人ト看做スヘキ宗

旨組合ノ禮拜ニ用フル家屋

私有家屋内ノ禮拜所モ亦此部類ニ屬ス

第十三條 左ニ掲クル者モ亦家屋稅ヲ免スヘシ

僧侶及ヒ法律上人ト看做スヘキ宗旨組合ノ僧侶ノ事務ヲ主トル者ノ官宅中學校師範學校小學校ノ教師寺院ノ看守人ノ官宅

家屋稅賦課法

死躰ヲ埋ムル者モ亦寺院看守人ニ同シ

故ニ寺院又ハ寺院組合所屬ノ家屋ニシテ僧侶ノ官宅ニ供スヘキ者ハ其僧侶又ハ所有者ヨリ他人ニ貸付ケタルモ亦家屋税ヲ免スヘシ

然レモ寺院内ニ在ル家屋ニシテ僧侶其家屬及ヒ奴僕ノ住居ニ供セシテ寺院所屬ノ土地借受人ノ用ニ供スルモノハ家屋税ヲ納ムヘシ又僧侶ノ事務ヲ主トラサル看守人ノ住居モ同シ

第十四條 又左ニ掲グル家屋モ家屋税ヲ免スヘシ

貧窮院孤兒院病院懲治場監獄慈善寄附所屬ノ家屋但慈善寄附所屬ノ家屋ハ直ニ慈善ノ目的ニ供スルモ限ル

慈善寄附所屬ノ家屋ノ免税スヘキモノハ慈善ヲ受クル者ノ住家

ノミナラス又慈善ノ目的ヲ總括シ又ハ其建築物ヲ監守スヘキ者例ヘハ頭取管理人等又慈善ノ目的ヲ補助スル者例ヘハ教師監護人奴僕等ノ住居モ亦同シ

然レモ他人ニ貸付クヘキカ又ハ寄附所屬地ニ在ル家屋ニシテ其土地ノ管理人又ハ借受人等凡テ其土地ヲ耕作スルカ又ハ其財産ヲ管理スル者(頭取検査掛山林掛奴僕費用等)ノ住居ニ用フル時ハ家屋税ヲ賦課スヘシ

僧侶ノ寡婦ニ終身給與スヘキ住家ハ慈善寄附ノ性質ヲ有スルニ因リ寡婦ナキヲ以テ臨時他人ニ貸付ケタルモ亦家屋税ヲ免スヘシ

第十五條 其他家屋税ヲ免スヘキ者ハ左ノ如シ

家屋税賦課法

人ノ住居セサル家屋ニシテ止タ耕作ノ用ニ供スヘキ者例ヘハ耕作ノ動物器具生産物等ヲ入ル、物營業ニ用フル家屋(第十九條)ニシテ薪炭生産物ヲ保存シ又營業ノミニ供スル動物ノ小舎ニ用フルモノ

菓實及ヒ葡萄ノ培養モ亦耕作ニ屬ス故ニ葡萄ヲ搾ル器械葡萄杭菓ヲ入ル、家屋ニシテ其培養ニ用フル者ハ免稅スヘシ

其他主トシテ耕作又ハ營業ノ用ニ供シ人ノ住居ニ供スヘキ場所ナキカ又其場所アル家屋モ亦同シ故ニ動物小舎物置ハ動物ノ番人又ハ貯蓄物ノ監守人ノ住居スル場所アルモ此規則ニ於テ住家ト看做スヘカラス例ヘハ動物小舎ニ番人ノ寢所及ヒ物置ニ看守人ノ住居アル類

以上耕作等ノ用ニ供スヘキ家屋ヲ貸付クルモ借受人ニ於テ其目的ニ供スル所ハ所屬土地ト連續スルト否トニ拘ハラヌ家屋稅ヲ納ムルニ及ハス但主トシテ貸付クル爲メ設ケタルカ又貸付クル目的ナリト看做スヘキ所ハ格別ナリ

以上營業ノ用ニ供スル家屋ニシテ人ノ住居セサルモノヲ貸付クル所モ亦其稅ヲ免スヘシ

第十六條 郡内ノ住家ニシテ耕作ノ用ニ供スヘキ場所例ヘハ耕作ニ用フル動物生産物等ヲ入ル、場所アルモノ及ヒ營業ノ用ニ供スヘキ家屋所屬ノ住家ニシテ製造場等ニ用フル生産物薪炭ヲ貯蓄スル場所アルモノ、使用價ヲ評定スルニハ其場所ノ住家ニ連續セサル所ハ免稅スヘキトニ注意スヘシ故ニ其場所ノ住家ニ連續スルカ爲

メ其場所ノ連續セサルハヨリ過分ノ稅ヲ賦課スヘカラス因テ以上ノ住家ハ之ヲ評定スルニ當リ耕作等ノ用ニ供スル場所ナキモノト看做スヘシ(第六十條三)

第十七條 第十五條ノ趣意ニ因レハ特ニ左ニ掲クル家屋ヲ免稅スヘシ

一 耕作ニ用フル樹木土炭等ヲ貯蓄スル家屋(第十八條ヲ見合スヘシ)

二 日雇稼等ノ牛豚野羊鳥ノ小舎ハ本人ニ於テ耕作ヲ爲サ、ルモ亦然リ鳩小舎養蜂所等及ヒ所有地内ニ在ル肥料ヲ取ル動物ヲ入ル、小舎等ハ其所有者ノ用フル車馬ヲ入ル、モ亦同シ

三 郡内ノ麵麴燒小舎ニシテ營業ニ用ヒス且住所ノナキモノ(第

四條三ヲ見合スヘシ)土地所屬ノ鍛冶場馬車製造所等ハ以上ノ制限ヲ以テ止タ所有者及ヒ耕作ノ用ニ供スヘキ者及ヒ以上ノ制限ヲ以テ穀物ヲ搗キ稻ヲ刈リ馬鈴薯ヲ蒸ス器械等ヲ入ル、小舎

四 耕作器具馬車動物ニ用フル器具等ヲ入ル、小舎

五 冬時草木等ヲ貯フル煖室

六 牛乳製造ニ用フル冰ヲ貯フル穴藏等

七 此規則ニ於テ家屋ト看做スヘキ亭ニシテ主トシテ別莊ニ用ヒサル者(第四條ノ二第二十三條ノ四ヲ見合スヘシ)

第十八條 然レモ左ニ掲クルモノハ家屋稅ヲ納ムヘシ

一 耕作附屬ノ營業(例ヘハ麥酒燒酎砂糖煉化製造等)ニ用フル家

屋

家屋稅賦課法

二郷内ノ材木小舎其他物置ハ止タ所有者ノ用ニ供スルモト雖モ耕作ノ用ニ供セス且薪炭生産物ヲ貯ヘ又ハ止タ營業ニ供スル動物ノ小舎ニ用フル營業上ノ家屋ニ屬セサルモノ(第十七條第三十一條第四十條第二)

三郡内ノ商人金貸醫師酒肆等ノ住家(第四十六條ヲ見合スヘシ)所屬ノ馬車小舎馬小舎物置洗濯場麵麩燒場ニシテ耕作ノ用ニ供セサルモノ

第十九條 營業ニ用フル家屋トハ(第十五條)製造場其他營業ノ爲メ特ニ設ケタルモノヲ云フ則チ鐵道ノ停車場ノ如キハ其主トナルモノナリ又差物師繩鈎屠牛者等營業人ノ細工場ハ屠牛場(第十一條ノ一ヲ見合スヘシ)繩鈎ヒニ非スシテ別ニ設ケタル家屋内ニ在ル

此モ亦タ同シ

第二十條 左ニ掲クル者ハ第十五條ノ要件ニ適ハサルヲ以テ家屋稅ヲ納ムヘシ

- 一旅客ノ牽連レタル動物ヲ入ル、爲メ設ケタル旅店ノ動物小舎
- 二公立屠牛場所屬ニ非サル小舎ニシテ(公立屠牛場所屬ノ小舎ハ屠牛場ト同シク家屋稅ヲ免スヘシ)第十一條第三ヲ見合スヘシ)旅客ノ動物又ハ生産物ト看做スヘカラサル屠牛ヲ入ル、モノ
- 三郵便擔任者馬車貸付人鐵道馬車起業人ノ厩又商人ノ厩ハ商品ヲ運搬セシムル獸類ヲ入ル、モノ
- 四製造場所屬ノ肥料ヲ作ル動物ヲ入ル、小舎
- 五鐵道ノ器械車人車ヲ入ル、小舎

家屋稅賦課法

六販賣品ヲ貯フル藏

七煉化石乾燥場ハ法律ニ於テ家屋ト看做スヘキモノナルヘシ(第四條六ヲ見合スヘシ)

第二十一條 其他家屋税ヲ免スヘキモノハ水ヲ引キ又ハ落ス仕掛ニ用フル人ノ住居セサル家屋ナリ

此規則ニ於テハ人ノ住居セサル家屋ニシテ石炭坑又ハ其他ノ礦坑ヨリ水ヲ引ク器械ヲ入ル、モノハ此部類ニ入ルヘシ

㊦使用價百分ノ四又ハ二ノ家屋税ヲ賦課スヘキ家屋

第二十二條 左ニ掲クル家屋ハ毎年其使用價ノ百分ノ四又ハ二ノ家屋税ヲ納ムヘシ

一主トシテ住居ノ用ニ供シ止タ其一部ヲ營業例ヘハ商店細工場等

ニ用フルモノ及ヒ劇場舞踏場浴場所集會所等(第二十三條)ハ使用價百分ノ四トス

二主トシテ營業ニ用フル者例ヘハ煉化石灰「ギブス」ヲ燒キ燒酎麥酒ヲ製造シ鍛冶場風車水車蒸氣車ニ用フル家屋及ヒ耕作製造(第十五條ヨリ第二十條マテ)ノ用ニ供セサル穴藏土藏馬車小舎

物置馬小舎ノ獨立スルモノ(第二十四條)ハ使用價百分ノ二トス

第二十三條 凡テ住居ノ用ニ供シ又ハ身躰精神ノ發育談話躰操歡樂ニ充ル家屋ハ其使用價百分ノ四ノ税ヲ納ムヘシ

第二十二條一ニ於テ各別ニ掲ケタル家屋ノ外ニ仍ホ其例ヲ攀クレハ左ノ如シ

一私立學校

二轉毬場ノ遊客休息所ニ連續シ家屋ト看做スヘキモノ(第三條第四條)

三射的躰操騎馬場等

四亭ノ家屋ト看做スヘキモノニシテ(第四條二)又第十七條ノ七ニ因リ免稅セサル

五賄所洗濯所ノ營業ニ用フル家屋(第十九條)ニ屬セサルモノ

六煖室所有者等ノ遊樂場ニ用フル者(第二十四條第三)

七鐵道ノ料理店休息所等

八旅店酒店等及ヒ料理店旅店私有庭園ノ休息所等ノ法律ニ於テ家屋ト看做スヘキ者

第二十四條 凡テ製造精製貯蓄又ハ交通ニ用フル家屋ハ其使用價百

分ノ二ノ稅ヲ納ムヘシ(第二十二條二)

特ニ左ニ掲クル者モ亦納稅スヘシ

一鐵道ノ家屋ニシテ止タ電信局荷物運送局等又鐵道掛ノ職務上滞在ノ(例ヘハ番人等)用ニ供スル者(第四條一第二十條五ヲ見合スヘシ)

二材木小舎等人ノ住居セサル小舎ニシテ獨立スル家屋ト看做スヘク(第三十一條)且免稅スヘカラサル(第十五條ヨリ第二十條マテ)

三松皮梨椿培養場等ノ煖室ニシテ人ノ滞在スヘカラサルモノ(第二十三條六ヲ見合スヘシ)

四道路遊歩場等ニ設ケタル店(飲料店)ニシテ飲料等ノ販賣ニ用フ

家屋稅賦課法

ルモノニシテ客人ノ滞在ニ用ユル小舎ハ其使用價百分ノ四ノ税ヲ科スヘシ(第二十三條ハヨ見合スヘシ)

第二十五條 所有者ヨリ住居ノ爲メ建築シ且住家トシテ貸付ケタル家屋ノ主トシテ借受人ヨリ營業ニ用ヒタルモノハ其使用價百分ノ二ノ税ヲ科セスシテ百分ノ四ノ税ヲ課スヘシ

第二十六條 一家屋内ニ營業場ト住所ト混シタルルキハ其税額ヲ定ムルニ當リ(其使用價百分ノ四ナルヤ又ハ二ナルヤ)其都度主ト爲ル目的ハ營業ノ爲メニシテ所有者等ノ住所ハ止タ其附屬ト看做スヘキヤ否ヲ判定シ其目的ノ如何ニ因テ使用價百分ノ二又ハ四ノ税ヲ科スヘシ

㊦ 一般賦課法

第二十七條 家屋税ヲ賦課スルニハ其家屋一年ノ使用價ニ準シ附録ノ表ニ掲ケタル等級ニ評定スヘシ

其調査シタル使用價二級間ニ在ルルキハ價ノ少ナキ級ニ評定スヘシト雖モ其使用價十二マルク以下ナルルキハ必ス一級ニ評定スヘシ

第二十八條 家屋税ヲ賦課スルルキノ使用價トハ(第二十七條)使用ノ總收入ヲ云フナリ

家屋ノ減耗保存費損失土地書入借用金等ノ利子ハ總收入ヨリ扣除スヘカラス

第二十九條 一家屋附屬ノ權利義務ハ其借家賃ヲ増減スルルキニ於テノミ算入又ハ扣除スヘシ但軍人旅宿ノ義務ハ此限ニ在ラス(第三十七條)

二、又家屋内外ノ粧飾ハ地方ノ情况ニ因リ使用價ヲ増減スルキニ於テノミ算入スヘシ

三、一年間全ク使用セサルトモ評定ノ價ヲ減スヘカラス

第三十條 家屋間ノ空地及ヒ家屋税ヲ納ムヘキ庭園ハ別ニ税ヲ賦課スヘキ物件ニ非ス家屋明細書等ヲ作ルキニハ止タ之ヲ附記シ別ニ其使用價ヲ證明スルコナク之レニ因テ使用價ヲ増加スル家屋ノ附屬物ト記スヘシ

庭園ノ範圍二十五「ア」レン「五十三」メートル四方(普國一「モ」ルダ「シ」ニ同シ)以上ニシテ地税ヲ納ムヘキキハ(第二條)其家屋ノ使用價ヲ計算又ハ賦課スルニ當リ之ヲ算入スヘカラス

第三十一條 地税ヲ納ムヘキ家屋ハ格別ニ評定スヘシ故ニ家屋ノ背

後兩側ニ在ル建築物馬車小舎馬小舎等免税スヘカラサル者(第十條)ヨリ第二十條)ニ於ケルモ亦然リ

小ナル材木小舎動物小舎物置等免税スヘカラサルモノハ之ヲ格別ノ家屋トシテ評定スルニ非サレハ格別ノ使用價ヲ知ルコト能ハサレハ其附屬住家ノ使用價ニ算入シテ評定スヘシ(第四十條第二)

第三十二條 礎ヨリ家根ニ至ルマテ經界ヲ以テ相區別シタル家屋ハ現ニ一箇ノ家根ヲ有シ一家屋ト看做スヘク又戸等ニ因テ經界ヲ隔タルト雖モ格別ニ評定スヘシ但所有者數人ニ屬スルモ又當時一人ニ屬スルモ關係アルコナシ然レモ家屋ト連續スル附屬建築物ハ前項ノ經界アルニ非サレハ一箇ノ家屋ト看做スヘシ

第三十三條 然レモ所有者數人アリテ一定ノ部分ヲ所有スル家屋ニ

在テハ礎ヨリ家根マテノ經界(第三十二條)ナキト雖モ各所有部ヲ各別ノ家屋ト看做スヘシ

經界ノ全部又ハ一部ヲ階級等ヲ以テ隔テ出入口階子段等ヲ共有スルルハ各所有部ノ使用價ヲ評定スルニ當リ共有部ノ相當ノ使用價ヲ算入スヘシ

各所有部ニ各別ノ附屬庭園(第二條第七條第八條)アルルハ之ヲ算入スヘシ

家屋明細書等ニハ家屋ノ種類ノ部ニ其所有部及ヒ附屬物ヲ簡畧ニ記入スヘシ

一定ノ部分ヲ所持スルコトナク其價ヲ分テ所有スルルハ各別ニ其家屋ヲ評定スヘカラス(第三十四條)

家屋ノ價ヲ分テ所有スルルカ又一定ノ部分ヲ所有スルヤ否ノ疑ハシキハ千八百七十二年五月五日ノ土地登記簿規則ノ行ハル、地方ニ於テ登記簿ノ記入特ニ簿冊ノ同葉ニ於テ數人ノ共有物ト記入シタルカ又各人ノ所有部ヲ各葉ニ記入シタルト否トニ因ルヘシ但登記官署ニ於テ其記入實況ニ應セサルコトヲ證明シタルルハ格別ナリ

登記簿規則ノ行ハレサル地方ニ於テ以上ノ疑ヲ生シタルルハ價ヲ分テ所有スルモノト看做スヘシ

第三十四條 一家屋ハ所有者ノ氏名ヲ以テ家屋明細書等ニ記入スヘシ但政府團結組合等又一箇人ノ所有ナルト否トニ關係アルコトナシ帝國各連邦所有ノ家屋ハ之ヲ管理スル官署ヲ附記スヘシ

二他人ノ所有地(例へハ借用地)ニ在ル家屋ハ家屋所有者ノ氏名ヲ以テ記入シ土地所有者ノ氏名ヲ附記スヘシ

三相續人數名所屬又數人共有スル家屋ハ相續人ナレハ相續人又繼承ノ氏名及ヒ相續人ト記シ共有ナレハ最多部ヲ所有スル者ノ氏名及ヒ共有者ト記スヘシ數人同一ノ部分ヲ所有スルハ「アルハベ」ノ順序ニ因リ最モ先キノ者ノ氏名及ヒ共有者ト記スヘシト雖モ村里内ニ住居スル共有者ハ他方ノ住民ヨリ先キニ記スヘシ(團結ニ於テ準備スヘキ家屋明細書ニハ一切ノ所有者ノ氏名ヲ記スヘシ千八百七十七年九月廿六日ノ家屋稅賦課檢査法ニ係ル布達第五條ノ①②附錄第十三條ヲ見合スヘシ)然レモ止タ共有者一人ノミナルハ二人ノ共有ナルヲ以テ兩名

ノ氏名ヲ記入スヘシ

四裁判中ノ家屋ハ三ノ如ク記入スヘシト雖モ亦現有者ト被告人ヲ記スヘシ

◎郷及ヒ郷ト同視スヘキ郡内ノ地方ニ於ケル家屋ニ其使用價百分ノ四ノ稅ヲ賦課スヘキ規則

第三十五條 郷故シユルレスイヒホルスタイン及ヒ「ナツサウ」國內ノ地方ニ於テハ(邑モ亦同シ)縣廳(大藏局)ノ公告シタル郡内ノ地方ニシテ主トシテ住家ヲ貸付クル所ニ於テハ其家屋ノ使用價(第二十八條)ヲ評定スルニ當リ其所屬明地庭園ヲ合シ一年ノ中等ノ借家料ニ因リ借家料ハ郷(邑)又ハ地方ニ於ケル十年以來ノ通價ニ從フヘシ

千八百八十年ニ家屋税ノ改正ヲ爲スニハ千八百六十八年ヨリ千八百七十七年マテノ借家料ニ因テ其使用價ヲ定ムヘシ又家屋變更ノ記入アルキハ千八百九十五年ニ第二ノ改正ヲ爲スマテ以上ノ借用賃ニ據ルヘシ「ラウエンブルヒ」郡ニ於テハ千八百九十五年ニ始メテ第一ノ改正ヲ爲スヘシ千八百七十五年二月十五日ノ規則第六條則附錄第十二ニ掲ケタル規則ヲ見合スヘシ其期日マテ家屋變更ノ爲メ更ニ評定スヘキキハ千八百六十七年ヨリ千八百七十六年マテノ借家料ニ據ルヘシ

第三十六條 一、千八百六十八年ヨリ千八百七十七年マテ(第三十五條)繼續シテ貸付ケタルニ因リ家屋全部ノ十年間ノ借家料ヲ調査シ得ルキハ其借家料ノ通價ニ因テ一年ノ中等ノ使用價(第二十八

條)ヲ計算シ之ニ應シテ税額ヲ定ムヘシ

二、千八百六十八年ヨリ千八百七十七年マテニ兩三年貸付ケタルニ因リ止タ兩三年ノ借家料ヲ調査シ得ルキハ其使用價及ヒ税額ヲ定ムルニ當リ其郷又ハ地方ニ於テ千八百六十八年ヨリ千八百七十七年マテニ現ニ借家料ニ高低アル爲メ十年間ノ通價ニ兩三年ノ借家料ヨリ高低ヲ生シタルキ之ニ應シテ調査シタル借家料ノ通價ヲ増減スヘシ

三、止タ家屋ノ一部ヲ貸付ケタルカ又千八百六十八年ヨリ千八百七十七年マテ一部ノ借家料ヲ調査シ得ルキハ借家料ヲ知ルコ能ハサル部分ノ使用價ハ之ヲ調査シ得タル部分ノ借家料ニ應シテ評定シ其他ハ一ヨリニマテノ規則ニ因ルヘシ

四千八百六十八年ヨリ千八百七十七年マテノ借家料ヲ調査シ能ハサル家屋及ヒ其附屬明地庭園ノ使用價ハ相當ノ意見ヲ以テ公平ニ之ヲ定ムヘシ但同郷又ハ地方ニアル同種類ノ家屋ニ於テ調査シタル一ヨリ三マテノ使用價及ヒ家屋ノ位置建築法器具等其利害ノ借家料ニ關係ヲ生シタルカ又ハ貸付クルルハ酌量スヘキモノニ著目スヘシ

第三十七條 第三十六條一ヨリ三マテノ場合ニ於テ借家料高ニ關係ヲ生シタル特別ノ情況(例ヘハ借家人ニ借家賃ヲ拂ハシムル外ニ他ノ義務則軍人賄費^{第二十條}保存費等ヲ負ハシムルカ又親屬等ノ關係アルカ爲メ特別ノ定價ヲ以テ貸付クルカ又ハ自己ニ利益アル貸付ヲ爲スカ爲メ久シク非常ノ高價ヲ得タル等)ハ之ヲ酌量シテ使用價ヲ増減セシムヘシ

又家屋所屬ニ非ラス且家屋稅ヲ賦課セサル土地ヲ合シテ家屋ヲ貸付クルカ又借家人ニ家什器械等ヲ使用セシメタルモ同シ

第三十八條 郷又ハ地方ニ於テ僅少ナル家屋ノ借家賃ノミヲ調査シ得ルヲ以テ(第三十六條一ヨリ三)第三十六條四ノ規則ニ因リ其他ノ家屋ヲ評定スルコト能ハサルカ又毎年ノ借家料ニ高低ヲ生スヘキ情況例ヘハ湯治場ニ於ケル如ク客人ノ多少ニ因テ毎年ノ借家料ニ高低アルモ先ツ郷又ハ地方内ニアル下等ノ家屋ヲ評定シ之ニ應シテ中等ノ家屋ヲ評定スル如ク漸次ニ上等ニ評定スヘシ

第三十九條 千八百六十八年ヨリ千八百七十七年マテ(第三十五條)ノ借家料ヲ調査シ能ハサル(第三十六條第四)家屋及ヒ其附屬空地

庭園ヲ評定スルニハ其據ルヘキ家屋ヲ定ムルコトヲ得其據ルヘキ家屋トハ地方一般ノ家屋及ヒ其空地庭園ヲ云フモノニシテ且其位置(善惡又ハ距離)及ヒ建築法器具(住所賄所附屬建築物等ノ多少ニ因リ借家人ノ貧富ニ關係ヲ生スヘキ者)ニ着目スヘシ

第四十條

家屋ヲ格別ニ評定スルニハ左ノ箇條ニ着目スヘシ

一 數箇ノ家屋又數箇ノ家屋内ノ場所ニ付キ一箇ノ借家賃ヲ契約シタルキハ其家屋ノ使用價ヲ評定スルニ當リ總借家賃ノ各家屋ニ該ル高ヲ調査評定スヘシ

二 郷内家屋ノ小ナル附屬建築物例ヘハ材木小舎物置等(第三十一條二項)ニシテ各別ニ貸付クルコトナク所屬家屋ノ借家人ニテ之ヲ使用シ別ニ其借家賃ヲ定メスシテ家屋借家賃ニ含蓄セシメタ

ル者ハ別ニ使用價ヲ調査スルニ及ハス其附屬物ノ使用價ハ別ニ評定スルコトナク家屋ノ使用價ニ算入シ其附屬物ヲ合シタル借家賃ニ因テ稅額ヲ定ムヘシ(第三十一條)

三 他人ニ貸付クルカ又ハ自己ノ用ニ供スル家屋間ノ空地ノ材木積置場等ノ使用價ハ其附屬家屋ノ使用價ヲ評定スルニ當リ之ヲ算入スヘシ

四 大市及ヒ獸毛市ノ間ニ販賣所物品積置場等ヲ貸付クルカ又ハ入口ヲ店舗等トシテ貸付クルカ又入口ニ於テ商品ヲ販賣シ又ハ夜中之ヲ貯フル許可ヲ爲スニ因テ得ル借家賃モ亦合算スヘシ
家屋附屬商店等ノ使用價ハ各別ニ貸付ケタル借家賃ニ因リ又ハ同郷内ノ同商店ノ借家料ニ應シテ之ヲ定ムヘシ

五莫大ナル建築物ニシテ(王城等)他ニ比較スヘキ家屋ナキ者ノ借家賃ヲ評定スルニハ相當ノ意見ヲ以テ評定スヘシ但其建築物ヲ住家トシテ貸付ケ得ルヤ否又其家屋内ヲ改造シテ現ニ貸付ケ得ルヤ否ニ着目シテ評定スヘシ

六劇場舞踏場集會所旅店等ヲ評定スルニハ通常ノ家屋ト比較スヘシ

七鐵道會社等又一己人ノ傭ヒタル官吏ニシテ其規則又ハ契約ニ因リ官宅家賃ヲ拂フタルハ其借家賃ノ(其家賃ハ通常俸給ノ高ニ因テ定ムルモノナリ)他ノ同一ノ家屋ノ借家賃ニ應セサルモノハ之ニ着目スヘカラス

八郷ノ周圍ニアル其所屬家屋ハ別ニ名稱ヲ有スルト否トニ拘ハラ

ス郷内ノ家屋ニ應シテ評定スヘシ但其地ノ情況ニ因リ定價ヲ以テ貸付ケタルハ同一ノ郷内ノ家屋ヨリ定價ヲ以テ評定スヘシ
九主トシテ家屋ヲ貸付クルニ因リ借家料ニ應シテ其使用價ヲ定ムヘキ郡内ノ地方ニ於テ(第三十五條)第四十一條ノ家屋特ニ所有地内ノ所屬建築物(第四十一條第三)ノ使用價ヲ評定スルニハ其借家賃ニ據ルヘシ第四十二條ヨリ第四十七條マテノ規則ニ據ルヘカラス

①主トシテ家屋ヲ貸付ケサル郡内ノ地方ニ於テ其使用價百分ノ四ノ家屋稅ヲ課スル規則

①例外ヲ爲ス家屋

第四十一條 主トシテ家屋ヲ貸付ケサル郡内ノ地方ニ於テ其使用價

家屋稅賦課法

百分ノ四ノ税ヲ課スルニハ(第三十五條ヲ見合スヘシ)先ツ特別ノ賦課法ニ據ルヘキ家屋ヲ區別スヘシ其家屋ハ左ノ如シ

一 劇場舞踏場浴湯場集會所(第四十二條)

二 耕作ニ附屬セサル製造場(故ラニ主トシテ耕作ニ因テ得タル生産物ヲ精製スル製造場ニ非ス)等所屬ノ住家(製造場所所有者及ヒ其雇人勞力者ノ)又盛大ナル水風車所屬住家ニシテ其所屬地ノ收入僅少ナルモノ(第四十二條)モ亦同シ

三 郡内ノ所有地内ノ主トナル住家(第四十四條)ニ非サル住家(主トナラサル住家)例ヘハ借地人監守人ノ住家及ヒ土地管理人山林看守人傭人日雇稼等ノ住家等凡テ借家賃ヲ拂フト否トニ拘ハラズ專ハラ土地所有者ニ使役セラル、者ノ家屋(第四十三條)及

ヒ勞力者ヲ救助スル爲メノ家屋

四 夏日滞在スル別荘(第四十五條)

五 郡内ノ商人(營業ニ用フル家屋ヲ有セサル者第二)金貸醫師酒店ノ住家等ニシテ其所屬地ノ收入僅少ナルカ爲メ住家ノ使用價ニ關係ナキモノ(第四十六條)

六 鄙賤ナル職工製造場勞力者等ノ住家ニシテ其所屬地ノ收入僅少ナル者(第四十七條)

第四十二條 第四十一條一二ノ家屋ハ評定ノ爲メ比準スヘキ郷内ニ於テ同一ノ範圍建築法ヲ有スル家屋ト同級ニ評定スヘシ(使用價百分ノ二ノ税ヲ課スル爲メ比準スヘキ郷ニ付テハ第六十二條ヲ見合スヘシ)

比準スヘキ郷ハ豫シメ評定委員ニ通知シ又評定ニ必用ナル書類ヲ送付シ評定区内ノ家屋ヲ平等ニ評定セシムヘシ(第五十八條四項ヲ見合スヘシ)

第四十三條 一郡内所有地ニ在ル主トナラサル住家(第四十一條三)ハ建築物ノ範圍及ヒ其住所ノ多少ニ因リ一級ヨリ六級マテニ評定シ之ヨリ以上ノ使用價ヲ有スルモ雖モ必ス六級以下ニ(一年ノ使用價六十「マルク」ヲ有スルモノ)評定スヘシ

二其住家ハ其地ノ耕作ヲ爲ス者又専ハラ其土地所有者ニ使役セラレ、者ニ貸付クルヲ要ス然ラサレハ第六級以下タルヘキ制限ヲ爲サス其使用價ニ因テ所屬級ヲ定ムヘシ

三特ニ第一ノ制限ヲ爲スヘカラサル者ハ郡内所有地所屬ノ旅店集

會所等ニシテ旅人ヲ泊シ酒ヲ販賣スル營業者ニ用ユルモノ及ヒ其土地ノ耕作ニ附屬セサル營業ニ用ユル家屋及ヒ其家屋所屬ノ主トナラサル住家ナリ是等ノ家屋ハ第四十一條第二第五及ヒ第四十二條第四十六條ニ從フヘシ

四郡内所有地ニ在ル主トナラサル住家及ヒ其附屬空地庭園ノ所屬級ヲ定ムルニハ第四十八條及ヒ第四十九條ヨリ第六十條マテノ規則ニ因リ其等級ヲ定メタル同範圍建築法ヲ有スル住家ト比較スヘシ然ル後六級以下ニ評定シタルモハ直チニ之ヲ確定シ以上ナルモハ六級ニ減稅シ一年ノ使用價六十「マルク」以上ノ主トナラサル住家ハ一切六級ニ評定スヘシ

第四十四條 郡内ノ所有地トハ(第四十一條第三)其地一村里内又ハ

數村里内ニ在ルト否トニ拘ハラズ耕作上一箇ノ獨立地ト看做スヘキモノヲ云フ(數箇ノ所有地臨時借地人管理人一人ニ合議スルモ更ニ關係ナシ)

故ニ例ヘハ武士領地ハ其附屬地ヲ合シ一所有地ト看做スヘシ當時所有者一人ニテ其土地二箇以上ヲ合併スルモ更ニ關係ナシ

又數箇ノ土地世襲土地等トシテ法律上一箇ト看做スヘキモ耕作上數箇ニ分割シタルトハ之ヲ各別ノ所有地ト看做スヘシ(第六十一條六)

然レモ例ヘハ農民地ヲ武士領地ニ合併シ永久一箇ノ土地トシテ耕作シタルトハ一箇ノ所有地ト看做スヘシ故ニ當時農民地ニ於テ其地ノ爲メ雇人日傭稼等ヲ入ル、住家ハ主トナラサル住家ト看做ス

ヘシ

又二箇以上ノ農民地ヲ永久合併シテ耕作地且其所屬家屋ノ一箇ハ所有者ノ住居ニ供スレモ其他ノ住家ハ雇人等ヲ入ル、爲メナルトモ同シ(第五十三條ヲ見合スヘシ)第四十三條一二ノ規則ニ因レハ其地ノ耕作ヲ爲ス者又其所有者ノ使役スル者ヨリ他人ニ貸付ケタル住家ハ格別ナリ

第四十五條 夏日滞在スル別荘(第四十一條第四)ハ其所屬地ノ範圍及ヒ收入ニ拘ハラズ家屋ノ大小建築法ニ因テ評定スヘシ

第四十六條 郡内第四十一條五ノ商人(營業ニ用フル家屋ヲ有セサル者)金貸醫師酒肆ノ住家ハ其所屬地使用地ニ拘ハラズ評定スヘシト雖モ其借家料ニ因テ評定スルコト能ハサルトハ家屋及ヒ其所屬